

TOUKEN RANBU FAN BOOK

大俱利伽羅 × 燭台切光忠 再録集

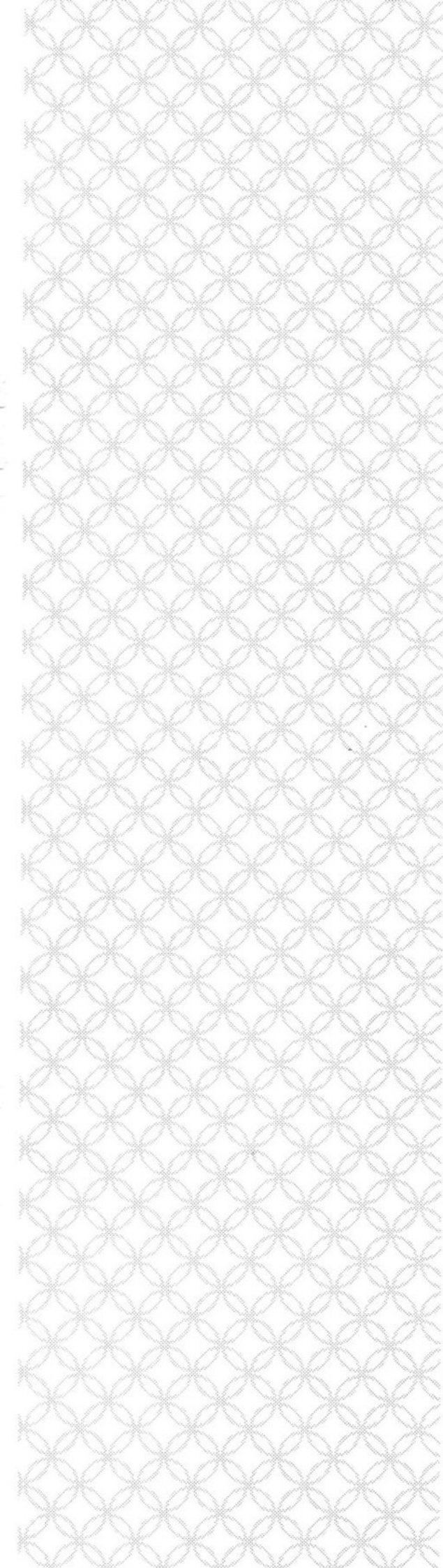
成人
指定



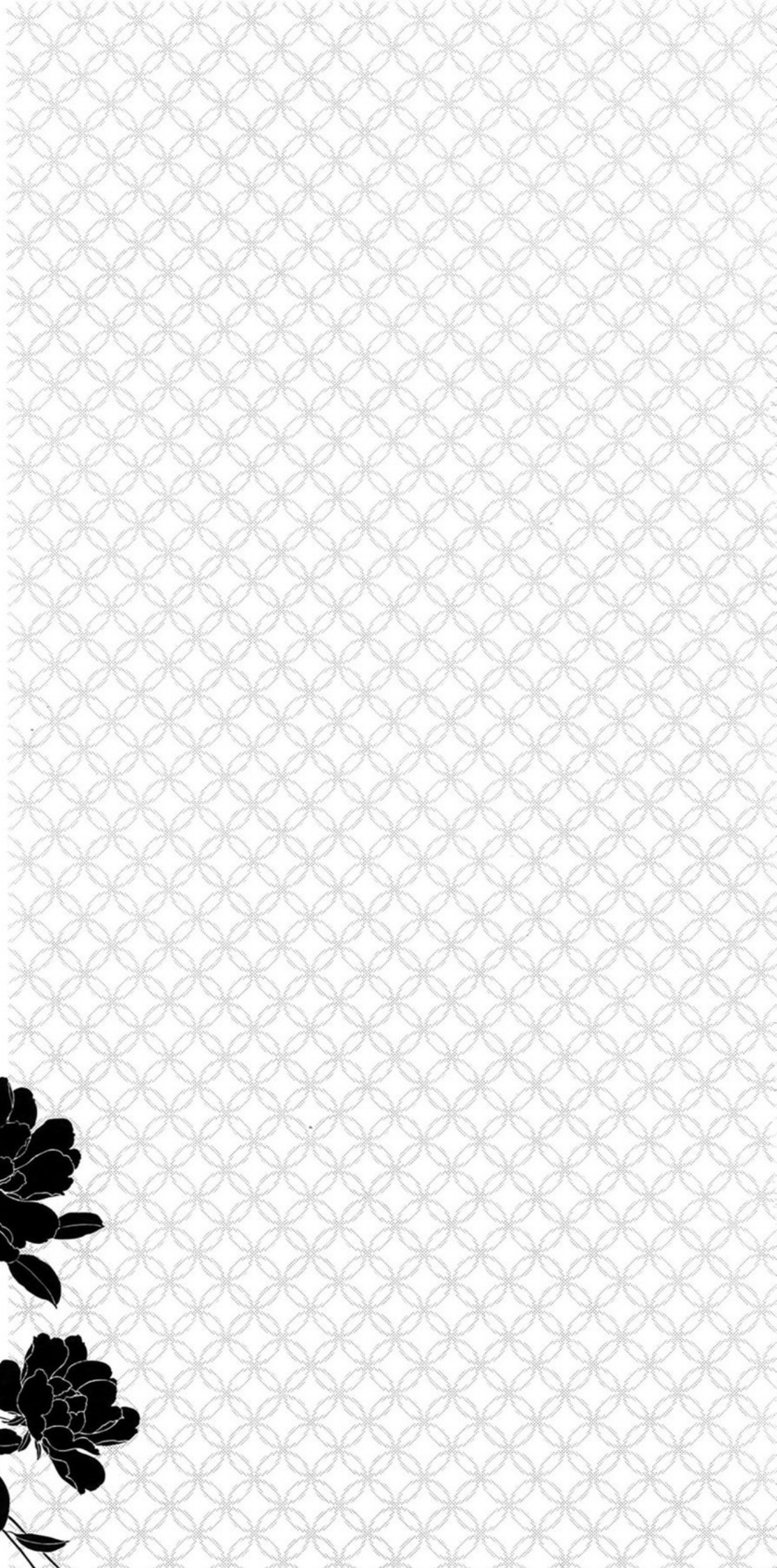
灯
火
綴
り

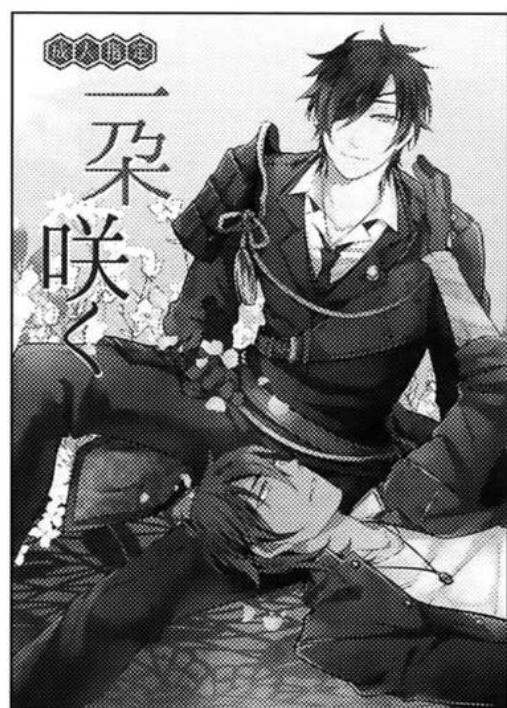
くりみつ再録集



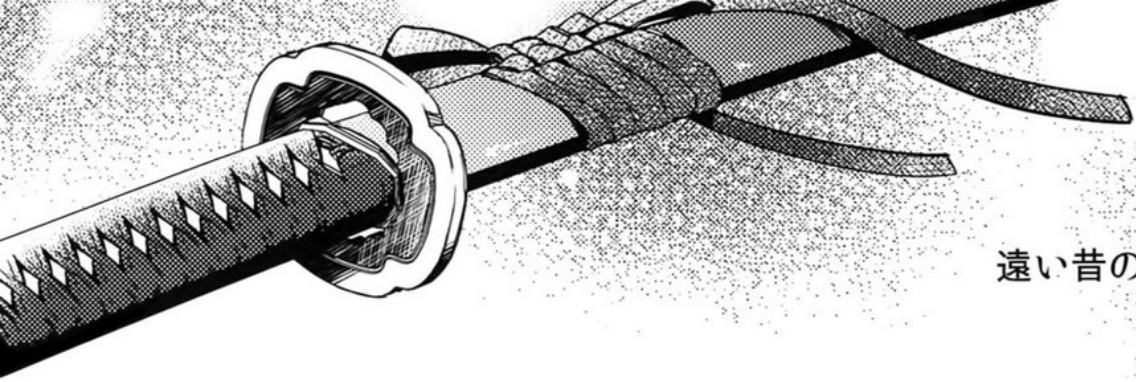
- 
- 一、 一朶咲く
 - 二、 熱帯夜光
 - 三、 目隠し鬼と虹色の匣
 - 四、 カタナの性教育
 - 五、 欲とつめたい殻
 - 六、 トウサク・リード
 - 七、 描き下ろし
 - 八、 集団生活の悩み
 - 九、 描き下ろし

『灯火綴り』 目次





一朶咲く



遠い昔の話



付喪神と言っても
当時のことは
朧気な記憶でしかない

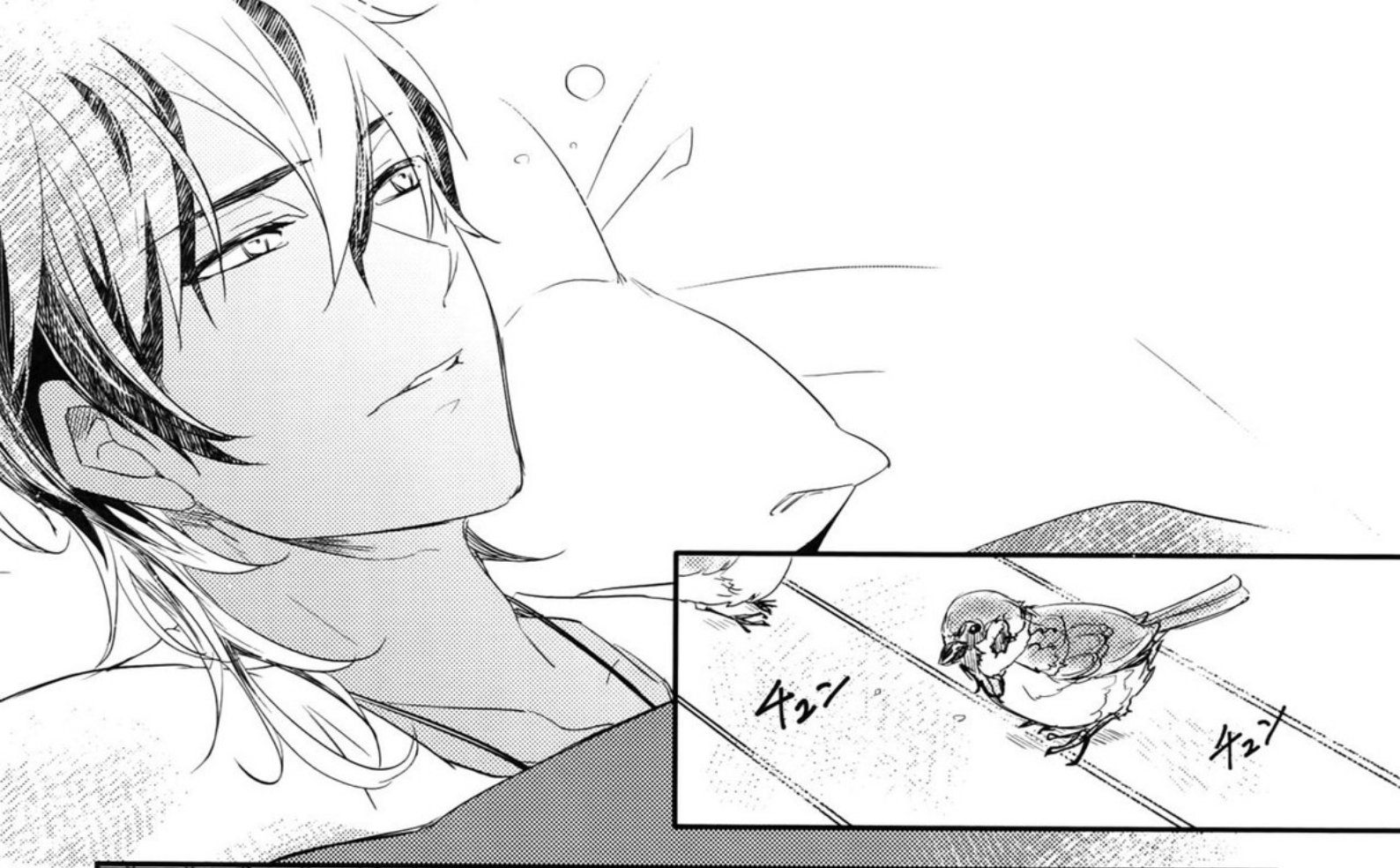
ただ



頻りに
話しかけてくる
世話焼きな
刀のことは



はつきり
覚えている





おはよう
大俱利伽羅!

今日は凄くいい
天気で…

…何だ?

あ



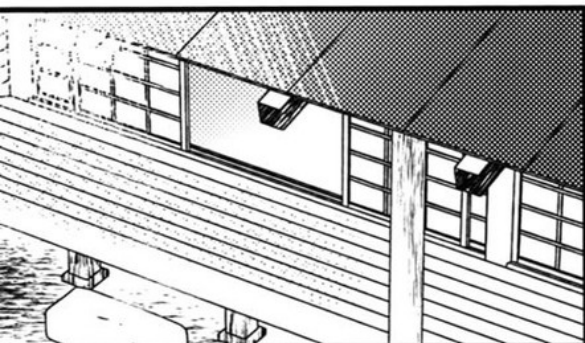
あーうん…

大俱利伽羅は
ひよつとして
初めてかな?

何がだ

それじゃあ
仕方ないよね

だから
何がだ



うん

手伝うよ





何だ

フム
フム

フム

フム

これは――



…何だこれは

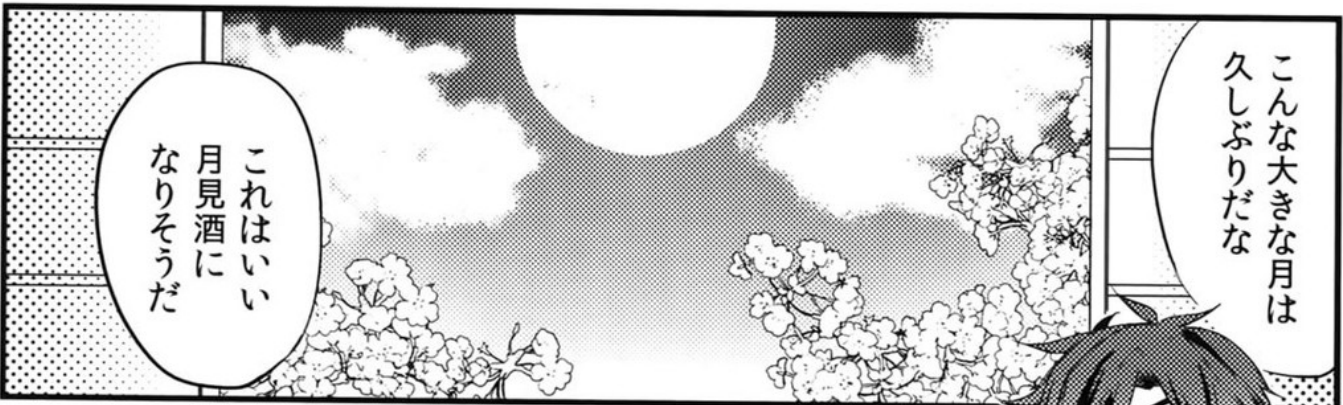


長い
長い
長い間

臃気だった熱の塊が
人の肉体を手に入れて

じわりじわりと
広がっていくのを
実感していく

これは珍しいな





まるで本当に
人みたいだ

一朶
咲く

僕の知る限り
大俱利伽羅という刀は

誰かに頼るのが苦手な
ひどく不器用な
部類に思う



決して自ら進んで
絡みに行くような
ことはなかった

はずなんだけど…





止めた方が
いいのかなあ

うん…これは…
酔っている…みたいだね



鶴丸さんは
さつさと
どこかへ
行つちやうし

先に来れ
ますぞ

ちよと
鶴丸さん

さつ
さつ

潰れた彼を
寝かせようとした
だけなんだけど



そろそろ…
これはまず

…光忠



参ったな...

光忠...



光忠...



人の体って
どうしてこう...



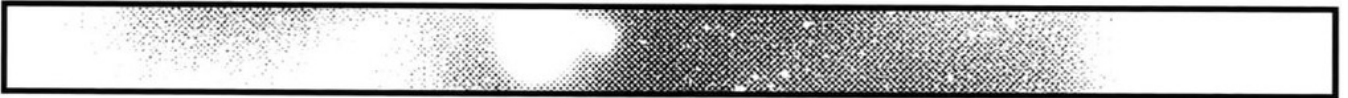
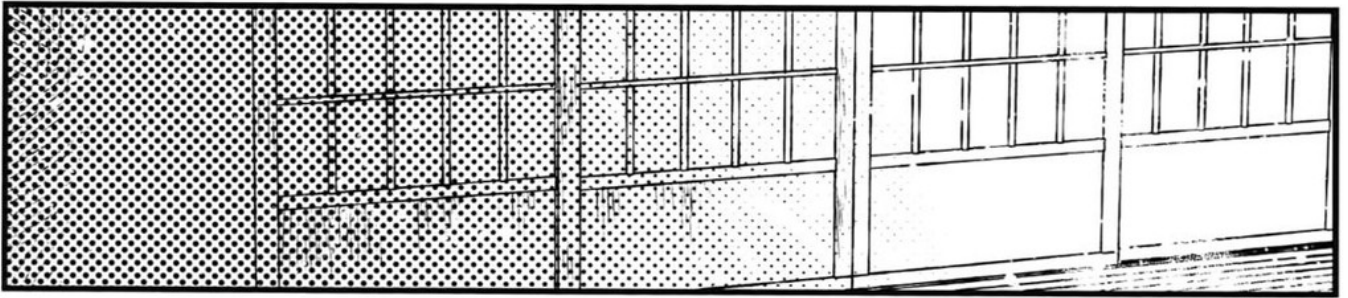
...あれ?



けあ



あ





なつなつなんで
あんたが…

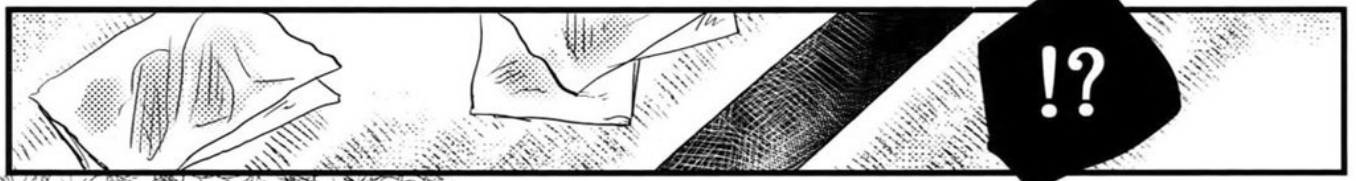
おはよう
大俱利伽羅

いきなり
ひどいなあ

じつは

やあやあ

ドツツ



!?



まさか

それじゃあ僕
朝餉の支度が
あるから
先に行くよ

まさか…





そうだ

大俱利伽羅



とんでもなく
不機嫌だった
ものでね

いや何
今朝方すれ違った
大俱利伽羅が

…いきなり
何かな
鶴丸さん

えっ

なるほど



なるほど



なのに



君はてんで
普段通りだ



おっ

ドスト

ドスト

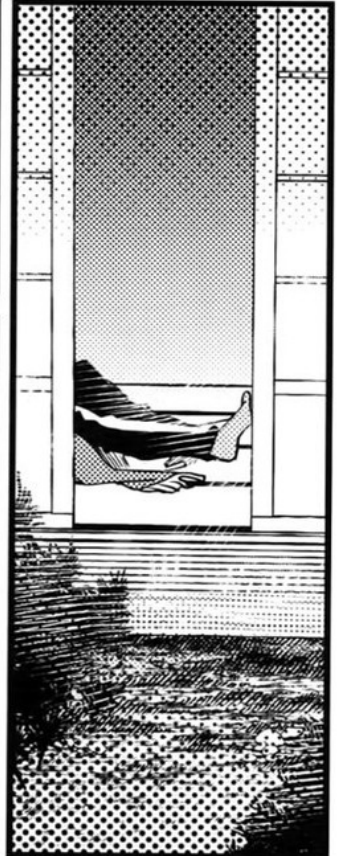


……

ニヤ

ニヤ

。





昨夜のことは
忘れるよ！



って
言っただけけど…
何か大俱利伽羅を
怒らせたかな？

君は…
もうちよつと
他人の機敏に
聡い奴だと
思っていたが…

どうやら俺の
見込み違いらしい

えっ
なんか
傷つくなあ…

流石に大俱利伽羅に
とつても恥ずかしい
記憶だと思うし

忘れてあげた方が
いいんじゃないかな

前の主も
よく酔って
失敗してたなあ

…これは

てつきりお前達は
とつくに恋仲なんだと
思ってたんだが

…俺は

恋って…確かに
大俱利伽羅のことは
大切だけど



僕たちは
刀だよ

それは人が
するものじゃ
ないかな？

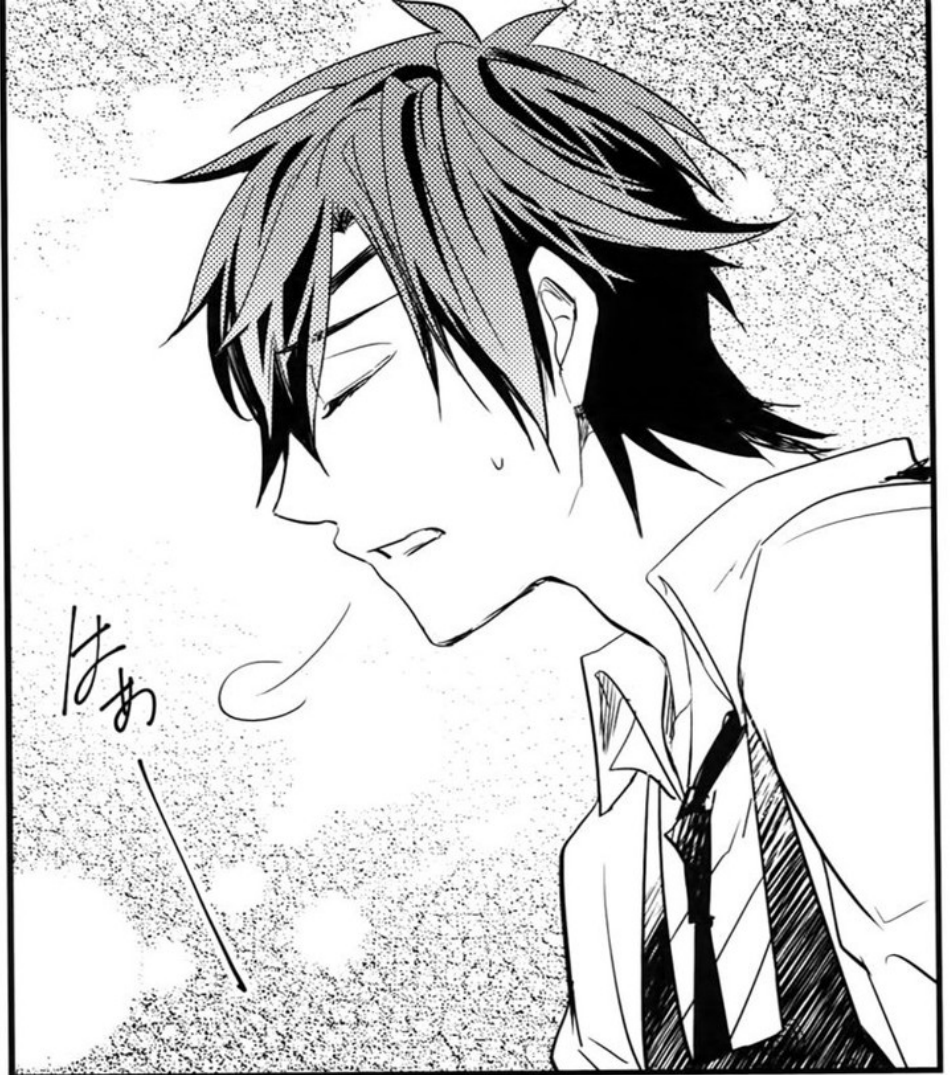
君が大倶利伽羅かな？







光忠は
俺の気持ちなんて分かっていない



どうした
珍しい

何だか最近
大倶利伽羅に
避けられてる
気がしてね

へえ
仲違いでも
したのか?

そんな
心当たりは
ないんだけど…



うん…
何だろうね
これは



あれ?



どちらにしろ
不満や悩み事は
早めに解決した方が
いいと思うぞ

後回しにしても
蟠りが増えるだけだ

まあ気まずい
ってんなら

付き合うぜ？



薬研くんって
本当見た目の
ギャップ凄いよね
うん凄く
かつこいいよ

お互い
様だろう

そんなわけで

飲んでたわけ
なんだけど…







なにを
かな？



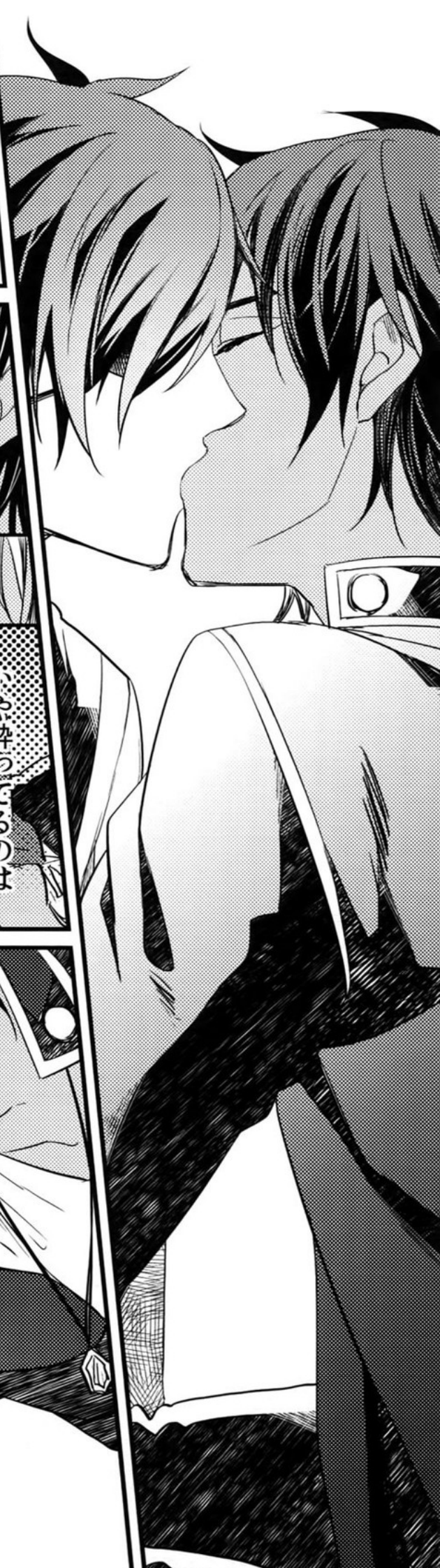
…それだけか

俺はあんたとは
何もして――



んっ

あつあつ



前の主の夜伽を
何度か目撃したことがある

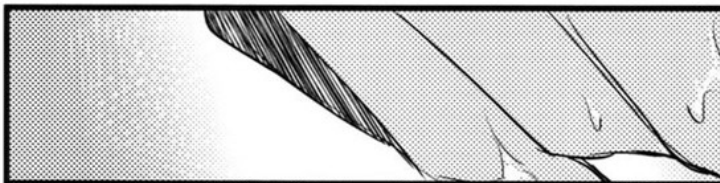
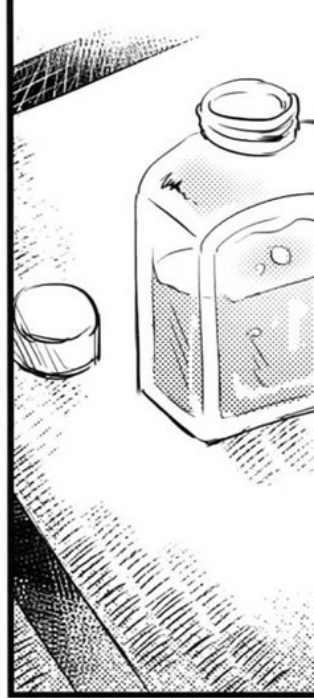
嫌じゃない
と…思う

僕たちは今
その人と同じ
身体を手にかけていて

実際その行為に
興味を持つことは
不思議じゃない

△//

大俱利伽羅も
きっとそうなのだろう





これは何か

なら
問題ない

だけど...

大丈夫



予想以上に



恥ずかしくないか

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ



ちよつと
待つんだ
大俱利伽羅



…嫌なのか

嫌じゃ
ないけど

…辛いなら
無理強いは
しない

…大丈夫
だけど

ブツッ

常に身なりを気にする刃 燭台切光忠



今の僕

格好悪いことに
なってない？

髪も凄いことに
なってそうなの
気がするよ

…やっぱ
止めない

えっえっ





…光忠

はあっ



鼻水出てるぞ

えっ
嘘っ!

嘘だが



打撃:73

マイナス補正:酔い・疲労

手離して
くれないかな?

隠すな





はなっ...

くりからっ

嫌だ

んうっ

じびびっ

びびっ

あっ

あっ

みっ

みる...なっ!

はっ

はっ



はあ

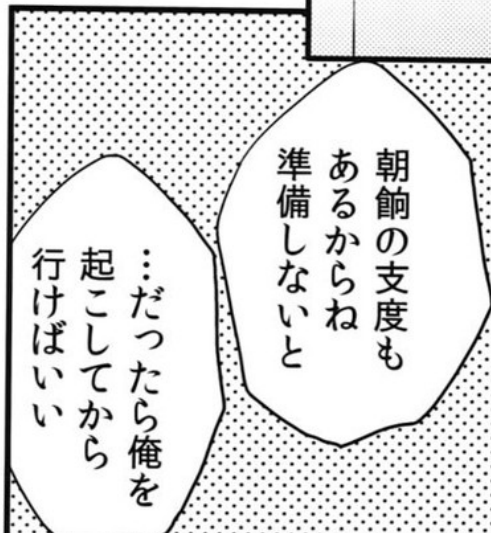


はあ



光忠…









いや…
また珍しい
もんを見たな



鶴丸さん…

ちよつと
見なかった
ことにしてくれ
ないかな

だつて
今の僕…

カマアア

たぶん凄く
格好悪い顔
してる…

ふるふる

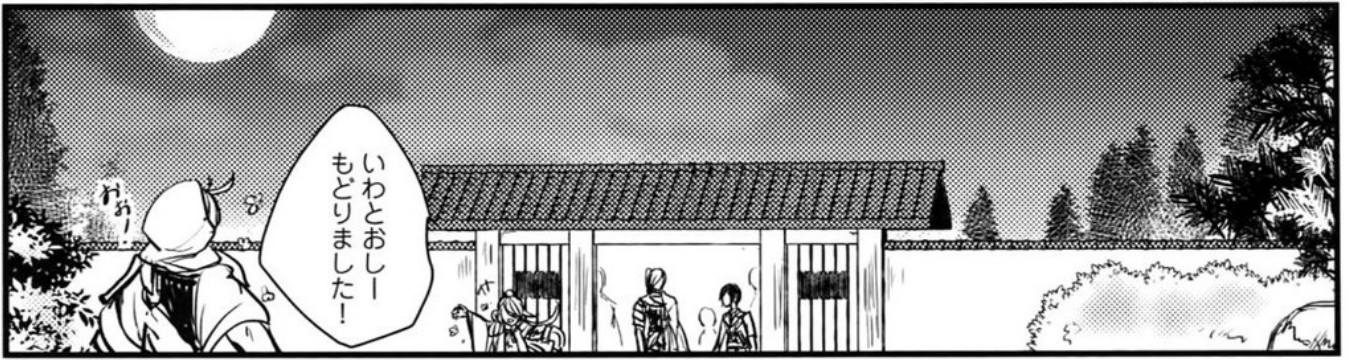


さて
面白いこと
なりそうだから

俺はここを
退散するでしょう



熱帯夜光









熱帯夜光





...



…何だ



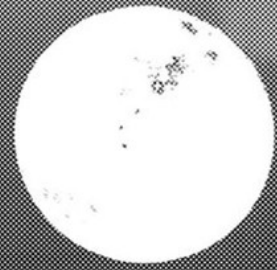
また手合わせ
お願いしようと思つて



ああ







いくら夜は
君が有利でも

油断：
するのは
どうかと
思うよ



光忠

熱いな



ん

何？



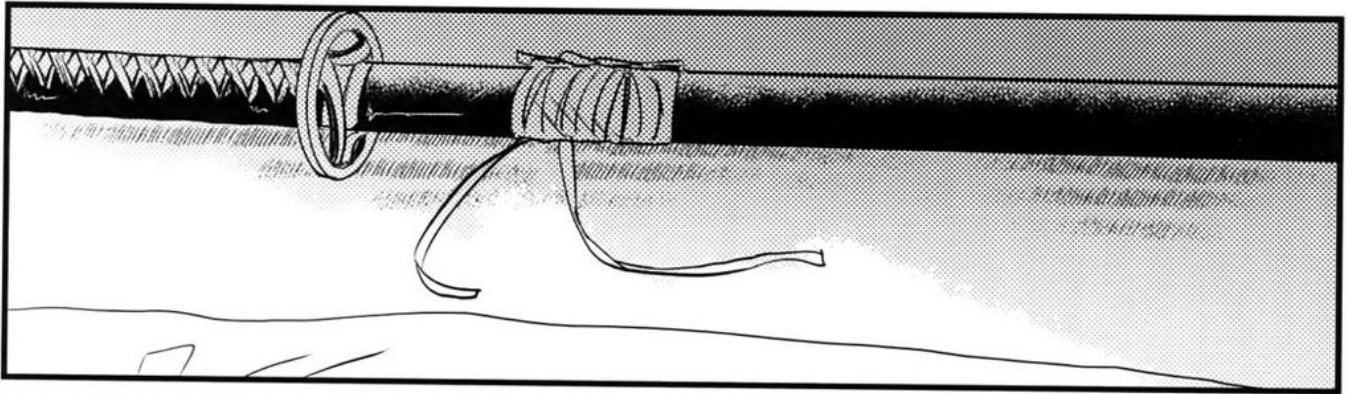
…そうだね
最近はずっと
こうだ

フリッ



…熱

もう少し発散
させた方が
いいんじゃないか





待ってくれ...っ

倶利伽羅っ

まっ

あっ



ゴメン
大倶利伽羅



どうした？



僕を縛って
くれないか？



ごめん

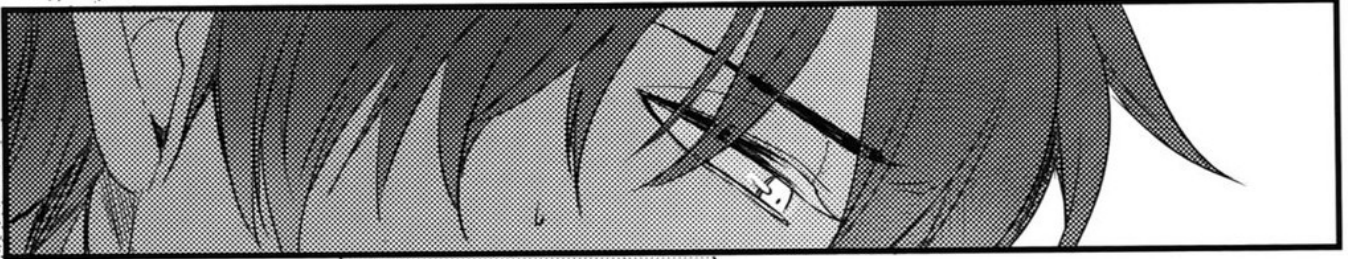


ち
違うよっ

…あんな
そういう趣味が



頼むよ



光忠と

何度か肌を
合わせるように
なっても

「それ」をしない
日はなかった



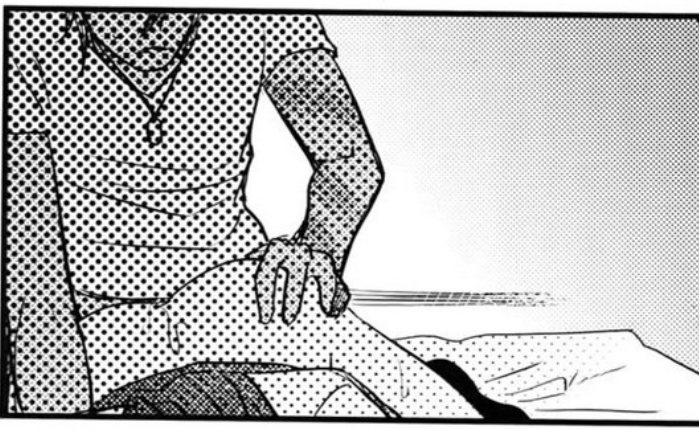
あっ

はっ

はっ

はっ

っ



光忠…っ



まのっ

寝不足か
大俱利伽羅



おお：
こりや
驚いたぜ



今日は
非番なんだろう？

寝てくれば
いい

大丈夫だ



ほあ



夜な夜な光忠と
手合わせしてると
風の噂で聞いたが

なに
そんなに
激しいのか



…何か俺は
変なことを
聞いたか？

…いや

その光忠は朝から
張り切って厨で
動き回ってたが

あつちは本当
疲れた顔ひとつ
晒してはくれないな

…いいから
本当に寝て
きたらどうだ？



隊を支えるように動き

赤坂勇だよ
長谷部君

何
死ななまやあ

せ
は



必要とあらば
どんな仕事でもこなしていく

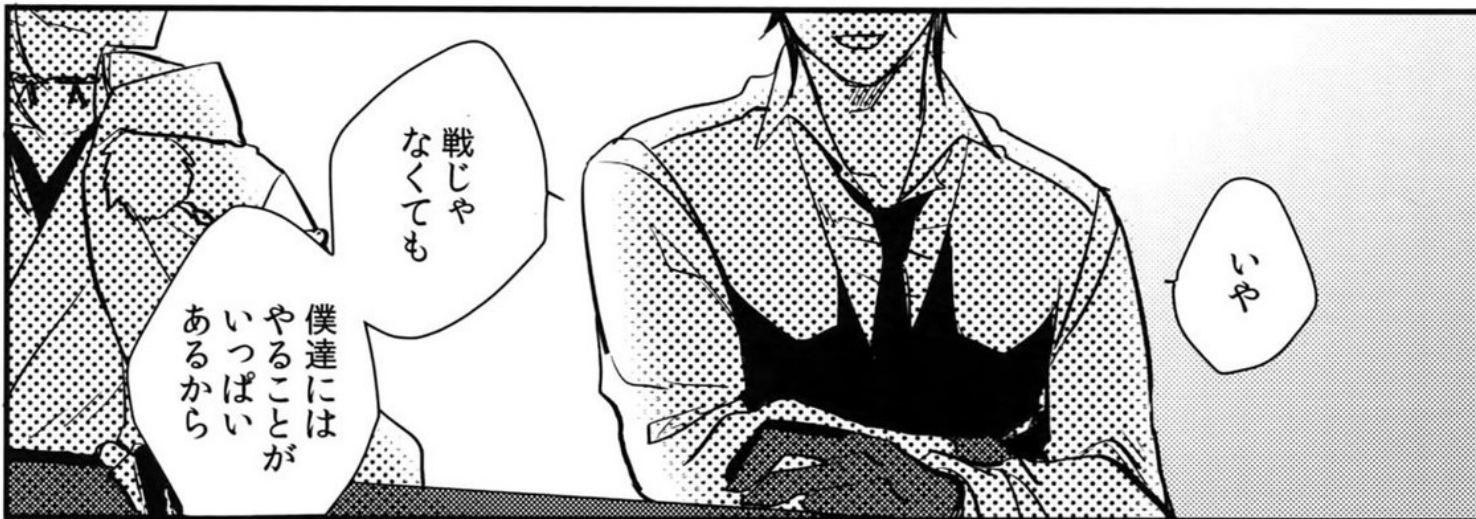


光忠は常に格好良さに拘る刀だ





物足りないか？



戦じゃ
なくても

僕達には
やること
があるから

いや



今日は

皆が帰った時用に
夜食でも用意して
おくかな

そりゃいい

何か驚くような
献立でも
考えてみてくれ

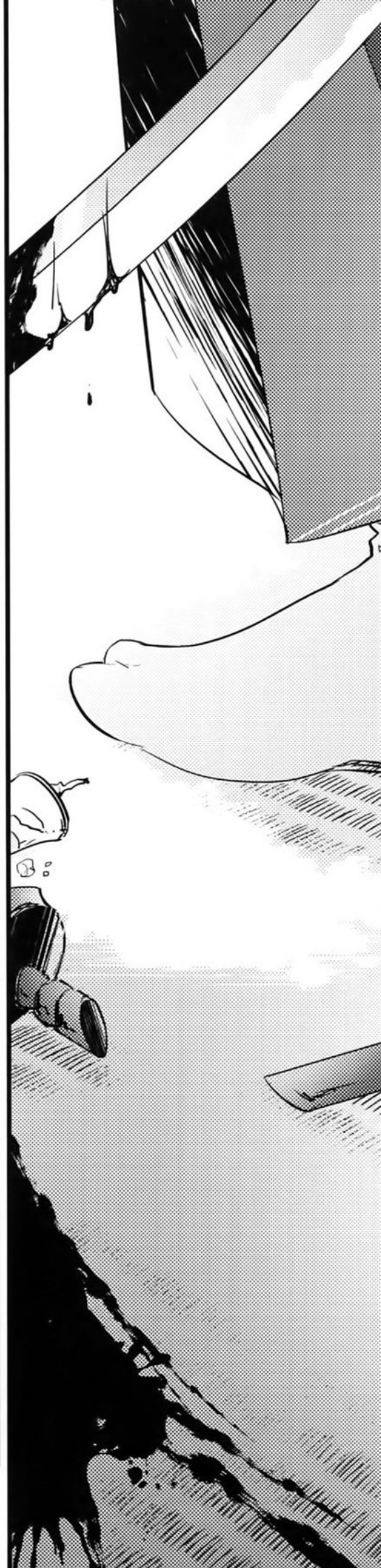


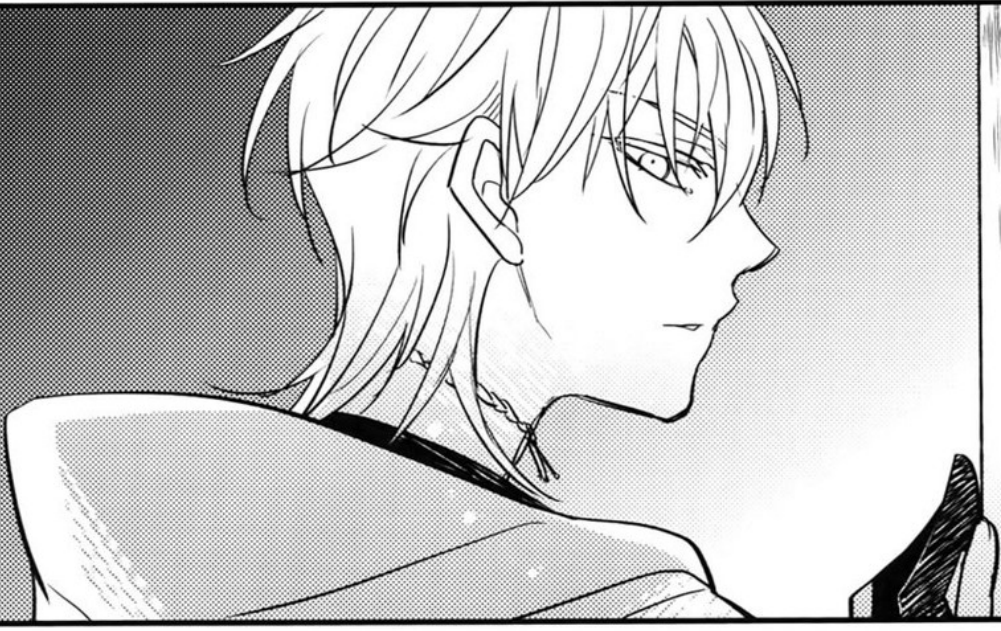
必要とされるの
ならその役目を
果たすだけだよ

いい加減
退屈すぎて


刀であることも
忘れそうだ





A close-up, black and white illustration of a character with short, light-colored hair, shown in profile from the chest up. The character has a serious expression and is looking towards the right. The background is a simple, light-colored wall.

斬ることで
号を得た刀は

A black and white illustration of a character with spiky hair, seen from behind. The character is standing on a balcony or walkway with a railing, looking out towards the right. The background is a plain, light-colored wall.

何に価値を
見出すんだらうな

…今日は
普通にしたい







げっ

ぐっ

あ
あ

待って

げっ
げっ

あ



ツ
人
ツ

あ
ぢ
ぢ

く
り
か
ら
っ

あ
ぢ
ぢ

待
っ
…
あ
っ

あ

あ

あ

あ
あ

っ

ん

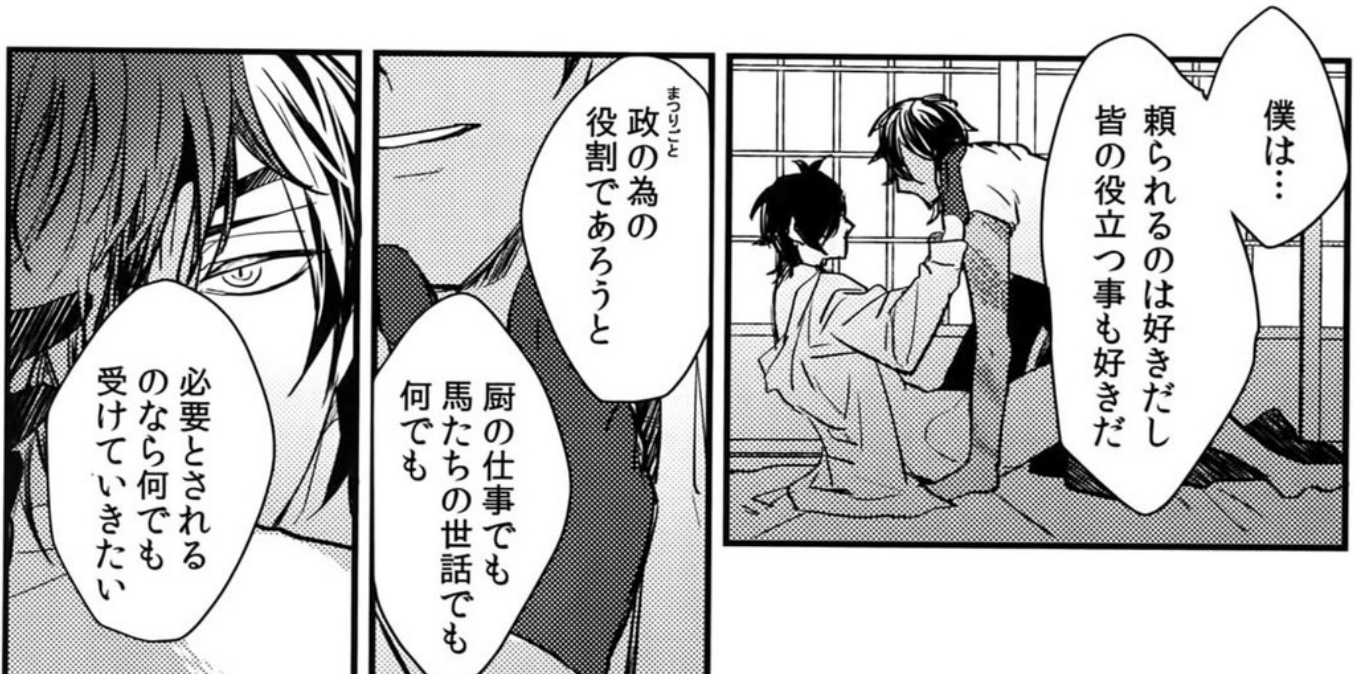
あ
っ



光忠

あんた…俺を
斬りたいのか







ただ

所詮
僕は刀だから

もう一度刀として
使われるのなら

斬りたくて斬りたくて
仕方がないんだ



君とこうして
いるとその欲求が
押さえられなくなる

…ゴメン



うん

もう大丈夫だ



続きしようか



昼間は落ち着いて
いられるんだけどな

格好悪い
ところ見られ
ちゃったかな



…大俱利伽羅



君にしか
頼めないから

こんなこと

あまり君を
傷つけたくない



光忠は
あまり弱みを
見せたりしない

誰かに頼るような
ことはしないのだ

誰にも頼らな

だから



はっっっ



あっ

んっ



んっ

んっ

んっ



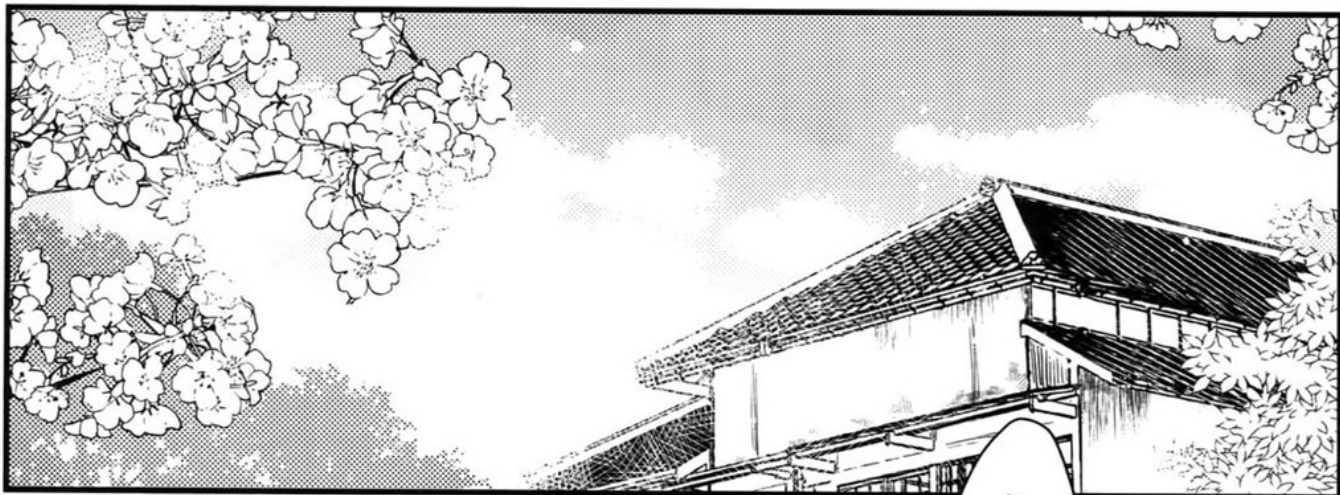
心地よさを
感じる俺は…

こんな状況に



俺は…

嬉しいのか…



えっ

新しい時代に
行くのかい？



久しぶりの
出陣だから
腕が鳴るなあ

嬉しいな

ねえ
大俱利伽羅





また君と
一緒に戦える



ああ



目隠し鬼と虹色の匣

初めて号を得た時の記憶は鮮烈だ

眼前に広がる光は

灯されていた
炎よりも眩しくて



そんな目映い

光の塊だ



大俱利伽羅

これ
お願い
出来るかな



…あんな
またそういう
趣味を
違う
よっ！



ただ
ちよつと…
恥ずかしい
というか



自分が
どういう姿を
晒してるのか
分からない
からね
…それに



僕だけよく
見えてないのが
癪だなんてのも
あるかな

それが
本音か



…今更

ほあ

ああ…

そうだけど

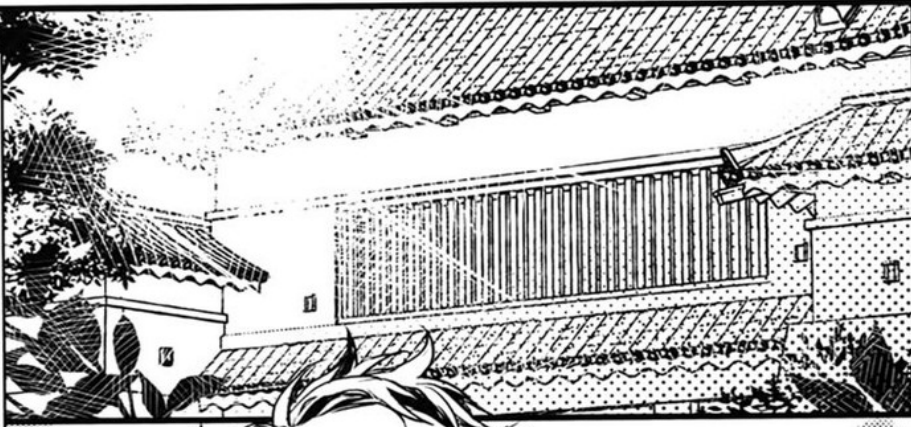
でも



目隠し鬼と虹色の匣

人の身体を
得たばかりの刀は

何もかもが
新鮮な体験だ



僕だって
それは変わらない

はあく
いい天気やき



この本丸の外って
どうなってるのかな

この空が ほほ
本物かどうかも
怪しいものだなっ

あるじさまは
ほろくらむだ
っていつて
ましたよ

じょうだん
です

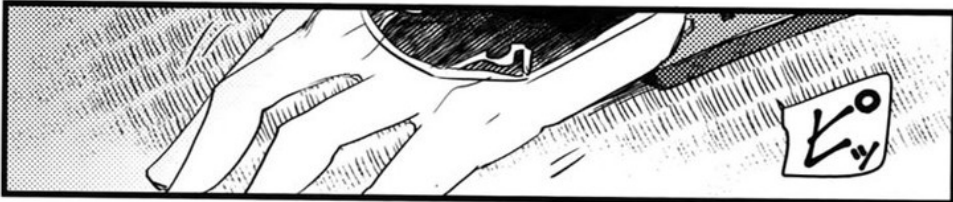
驚いたよ

腹が
減った

いやいや
驚いた…

今後ろに
隠した物を出せと
言っている







大俱利伽羅

ひよつとして
僕達がしてる
ことつて

うん...

結構：恥ずかしい
ことなのかな？

光忠？





ははっ
ゴメンよ

はあ…



見えない
だろう



おい…

大俱利伽羅は
何もなくて
いいよ



そのまま
動かないで

ぴちっ

ググッ

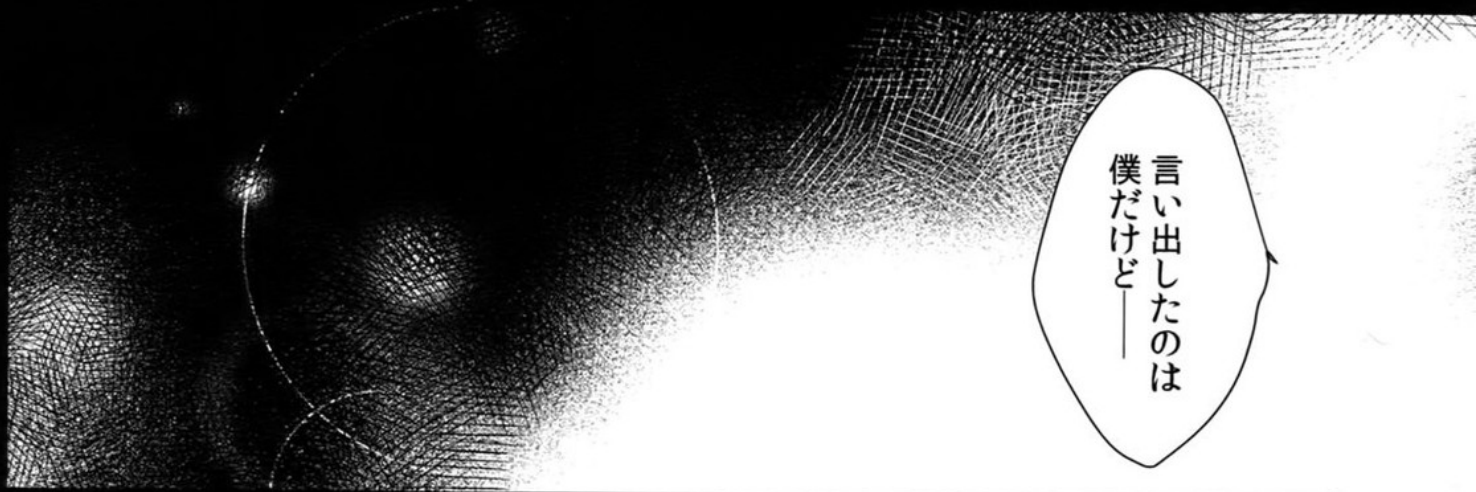
っ

んんん

んんん



旧知の仲とはいえ
僕には大倶利伽羅がよく分からない時がある



言い出したのは
僕だけど




そう

俺は別に…

もし嫌なら
断つても
いいんだよ

大倶利伽羅が
意外と素直に受け
入れてくれるから
驚くよ





やはり
戦場は楽しい

それは何よりも共感しよう

やはり僕らは
刀だ

気持ちが良い
楽しい

あの時に似た
高揚感



ん？
鶴らしい
だろう？

ああ
でも鶴丸さんに
言われたくは
ないかな

いやあ
なかなか派手な
有様だな



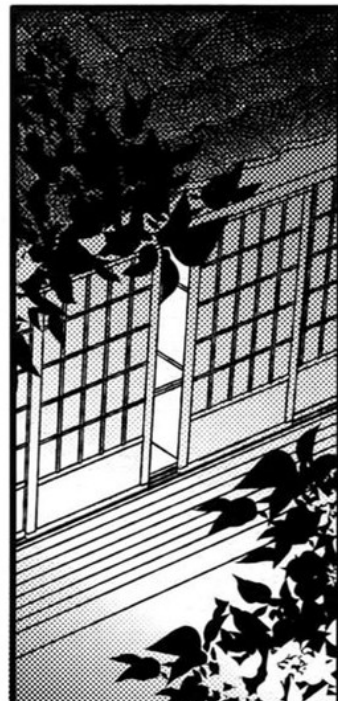
いいね

ああ

時々
思う

このまま
此処に
居たら
どんなに
いいか

いつまで
僕は...





それだけで
終わるなんて
言っていないよ



君だって
ほら...

...



手合わせじゃ
なかったのか





うん
続き
しようか







おやすみ
大俱利伽羅



いい夢を



いえ

ちよつと
めずらしい
はなを
みつけたので



お
く
どうした
今剣よ



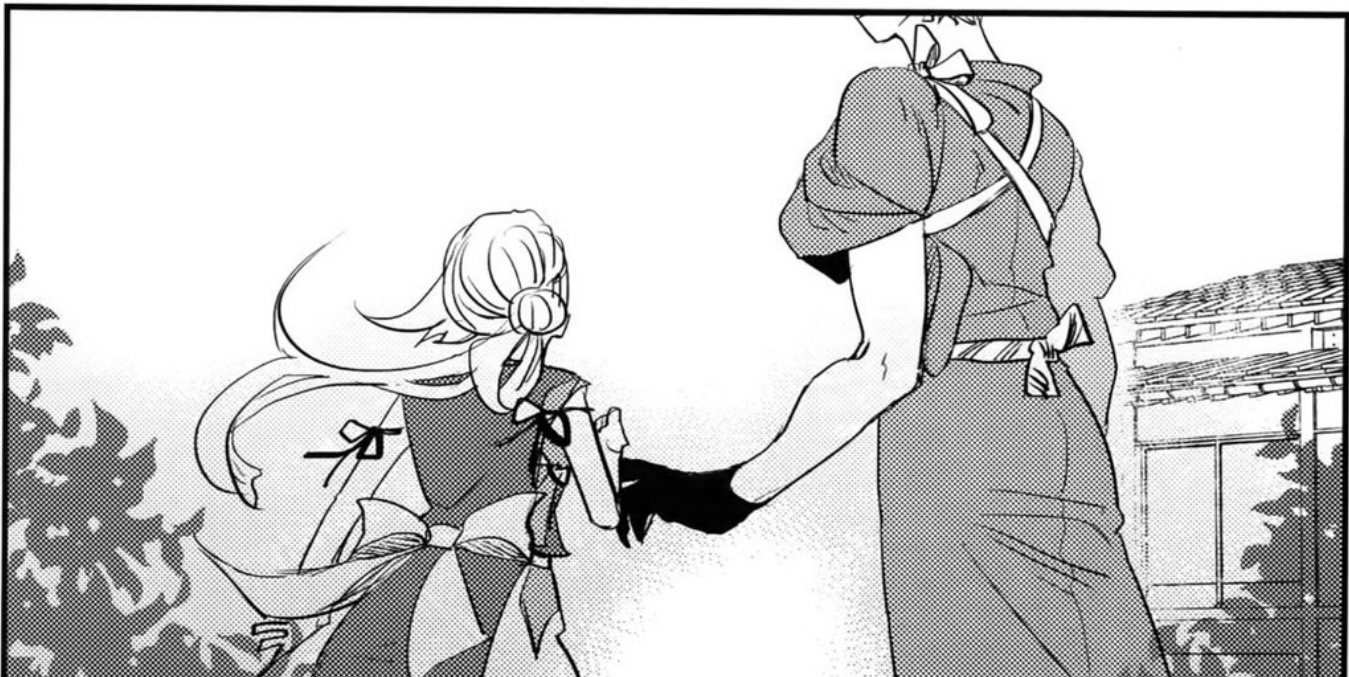
ははっ
また新しい物を
覚えたな

そ
うか
で
し
よ
う
か



もう朝餉の時間だ
早く行かぬと
食い逃して
しまうぞ

そ
れ
は
た
い
へ
ん
で
す
!







持て余した熱を
発散させるのに
俺達が触れあうように
なったのは

昔馴染みの
気安さからとか
同室ゆえの
気軽さとか

ただそれだけの
理由だと
思っている
のだから

光忠は





あんたは今
どんな顔を
してる？



光忠



あいつは
今よりも
随分臆気な
存在だった

初めて光忠に
会った時



話しかけて
くれて
有り難う



ごめん
まだよく色々
はつきり
分からなくて:



おい
あんた...



ん？
ああ
呼んだかな？



凄いよ
聞いてくれよっ
大俱利伽羅!!



君の名前は
何て言うのかな?



すっぱり
綺麗に燭台
まで斬って
しまったん
だっ!

僕さつき
号を得た
んだよ



今でも
震えが
止まらない

あんなに眩しい
物を見たのは
初めてだ！

光忠の名に
恥じない

凄まじい
見事な
斬れ味だった

あ

ごめん…



恋をして
いるな





いや
お節介は
やめておこうか

あれは...



光忠?



見たことが
ない花だ

ここだけ
椿の色が
違うんだよ

珍しい
ものを
見つけてね

ああ
大俱利伽羅か

ねえ
大俱利伽羅
ここの外って
何があるん
だろうね

外壁が
崩れかけて
いるな…

主が
接ぎ木でも
したのかな…?

不思議
だなあ…

何でだろう

色んな時代に
旅立っているけれど

この本丸の中と
戦場しか僕たちは
知らない



ちよつと
外へ行ってみたいと
思わないかい?



……



…あなたが

ゴメン
冗談だよ



すん

そもそも
僕達には
必要ないものだ



有り難う
大俱利伽羅

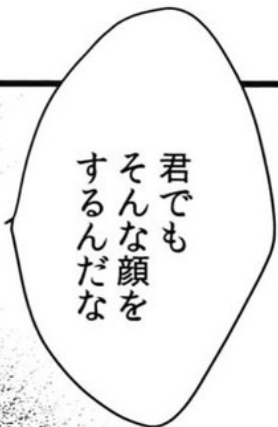
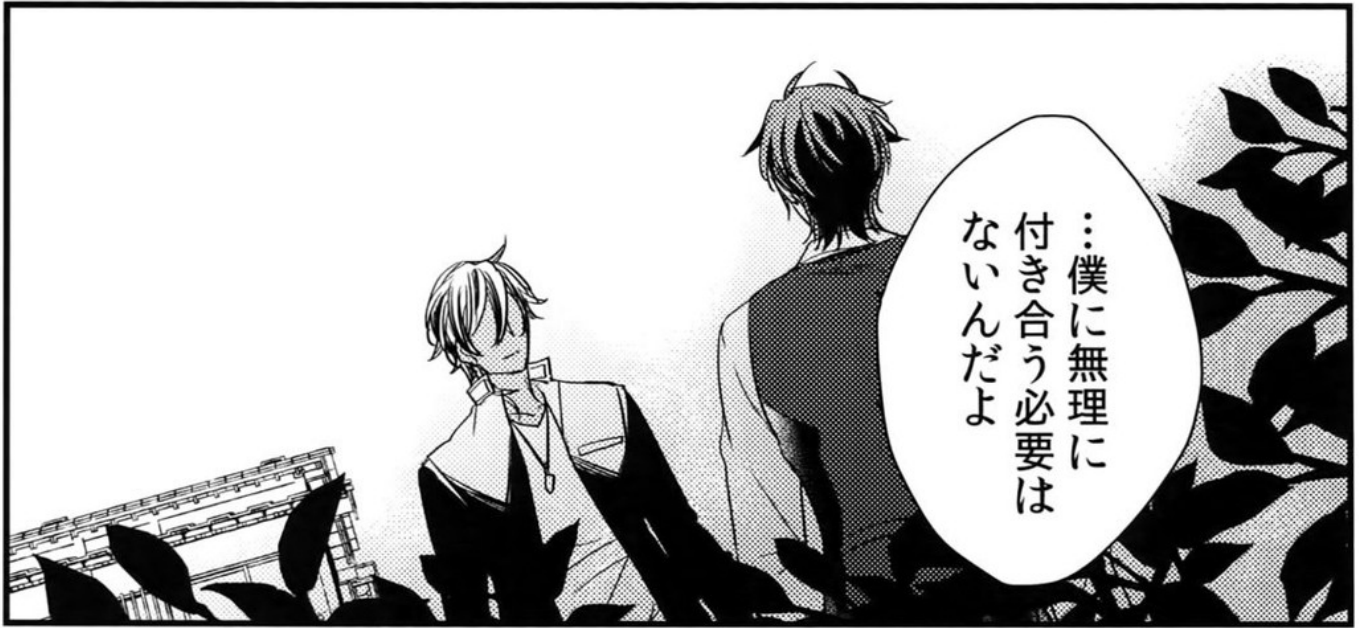


は？

だっていつも
せいぜい行けて
万屋ぐらい
じゃないか



戦場以外の
場所だって
行こうと思えば
行けるはず





ははっ
変なものでも
見られたかなあ



えっ今
僕どんな
顔してたかな？

いやなかなか
珍しい顔を
してたから
驚いたぞ



大俱利伽羅は
優しいからね
何も聞かずに
いてくれる



黒椿か



優しいか…
否定は
しないが
あんまり
酷なこと
してくれ
なよ

あっ

この種は
見たことがあるな
確か主の部屋に
あった本に

えっ君
もしかして勝手に
読んだのかい？

自分が仕える
主がどんな人
となりか
知るきつかけ
にもなるだろう

主達側にとっての正史
の中での話だが
比較的新しい時代で
生まれたものらしい

光忠

気づいて
いるか？

戦は
徐々に減り

城壁が
少しずつ崩れ

植物にも
変異が見える

遊行軍を倒し
歴史修正主義者
が減るにつれ

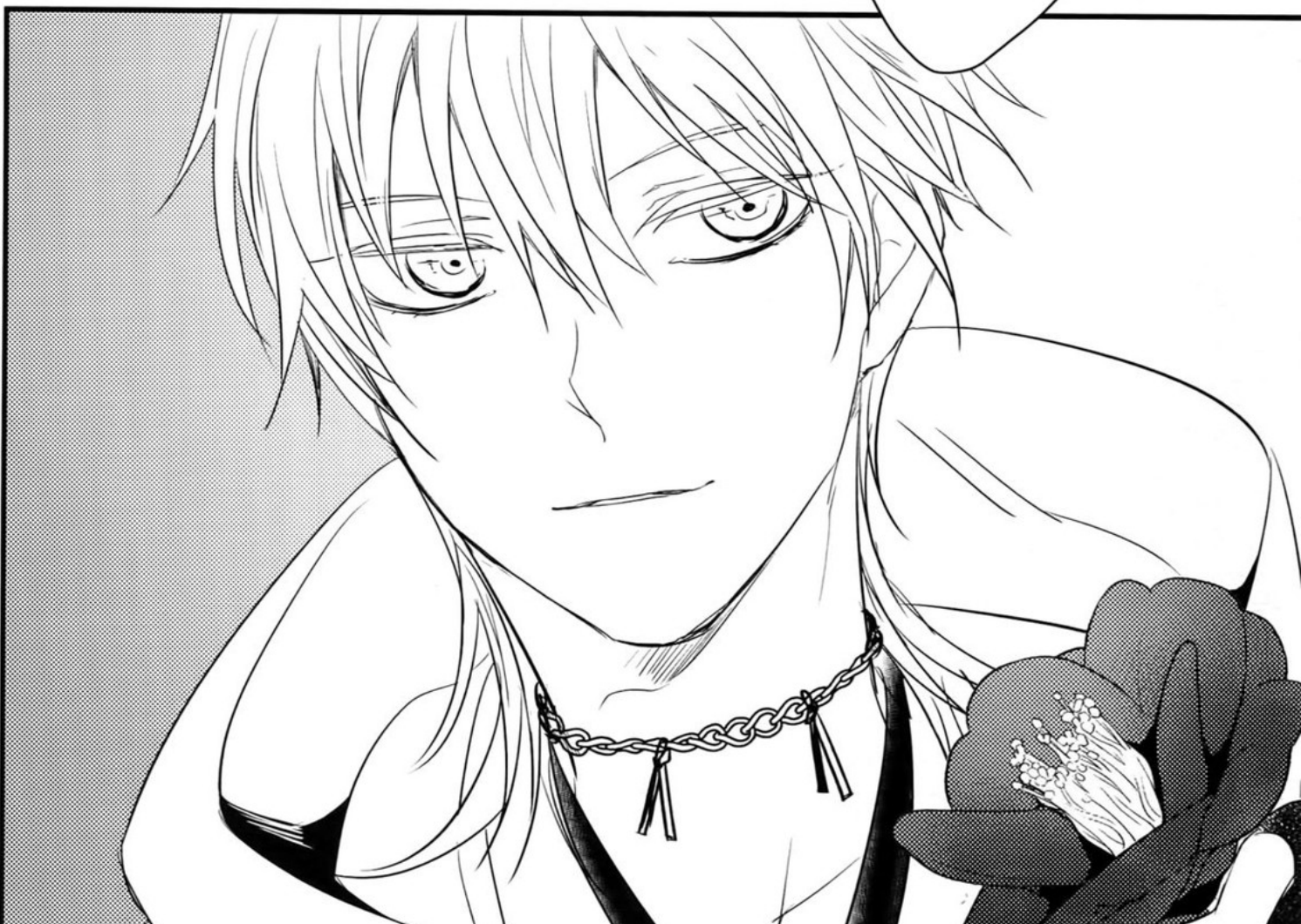
本丸^ニ一体も
影響を受けて
いるようだな

つまり



もうじき

僕達の役目は
終わるといふことか



光忠

大丈夫だよ
受け入れているさ

あと少しの
時間でも

刀としての役割を
果たせるのなら
僕は幸せだ

明日も
出陣だしね

皆の役に
立てるよう
頑張るよ

やはり…
君にとっての
生は

そこで
終わり
なんだな







君から
声を掛けてくれる
なんて珍しいな




光忠は弱味を見せない

どんな事でも
さりとなす
器用さと柔軟さがある

光忠の
取り乱した姿など
滅多見れやしないだろう


いや

まったく
無いわけじゃない——





つと今日は
お仕舞だ



今手入れ部屋に
入ったら

お互い
明日出陣が
出来なくなつて
しまふよ



無理はするな



うわっ
凄い雨だな



燭台切は

こちらには
居ないよう
ですが…



おいつ
撤退だ



敵も
多いな…

重傷者は
いないが
軽傷は
結構多い…か



ああ
大俱利伽羅

…先に
戻ってくれ



言い情報を
やるぜ

初めて
顕現した瞬間に
感じたのは

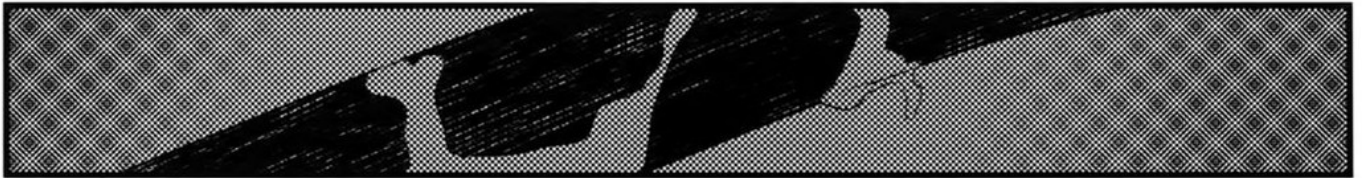


純粹な
喜びだった

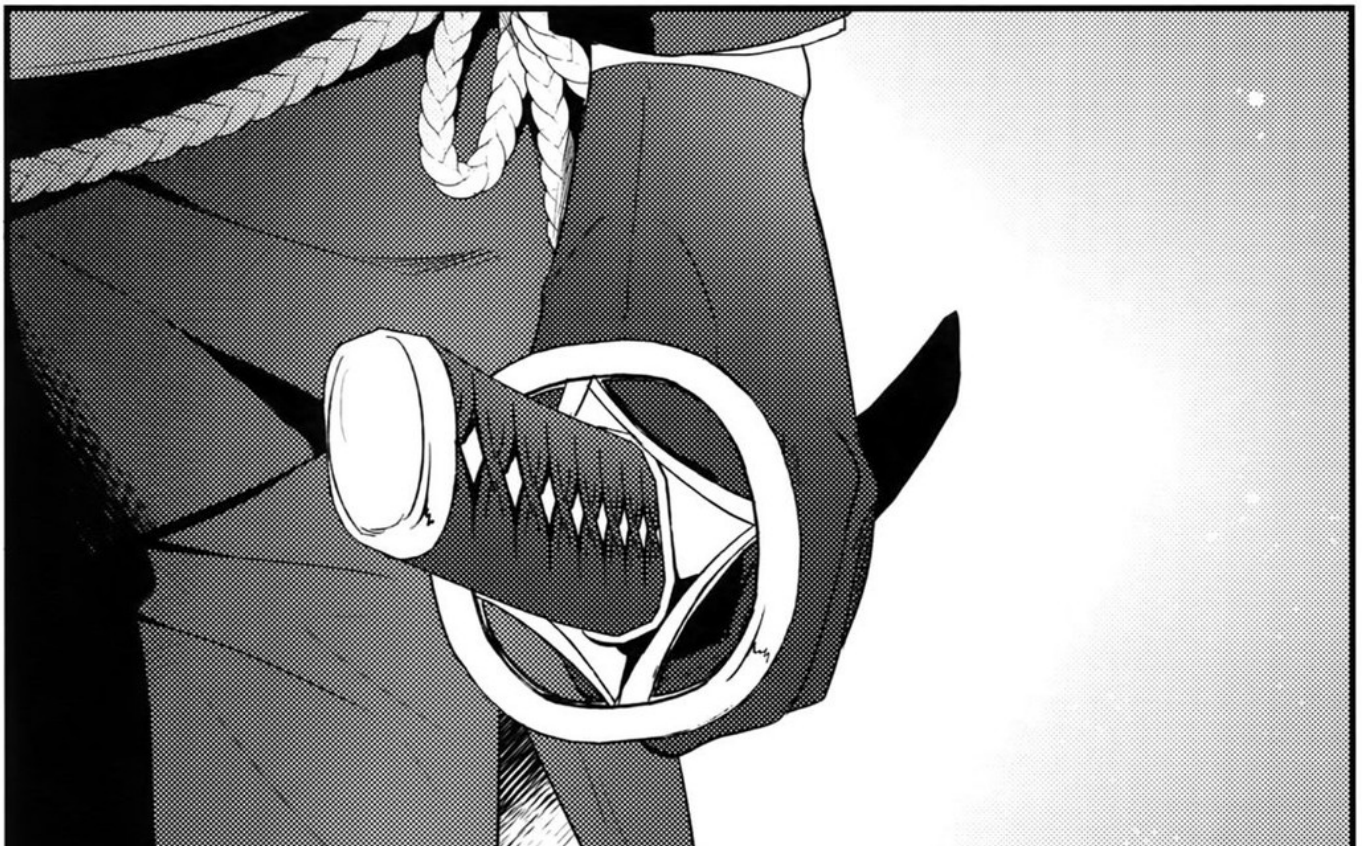
号を
与えられた時の
光が忘れられない

刀でいた時が
忘れられない

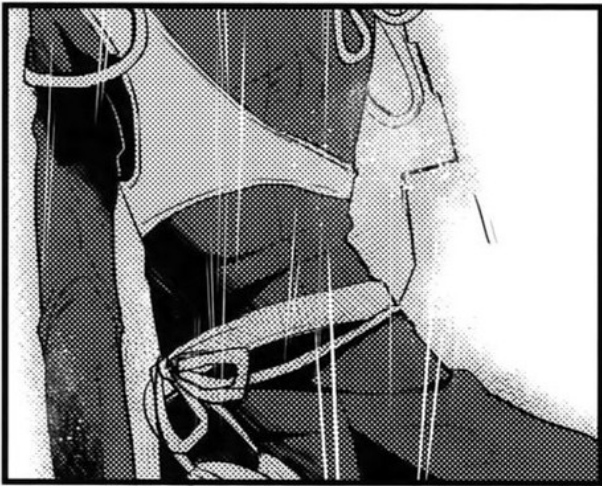
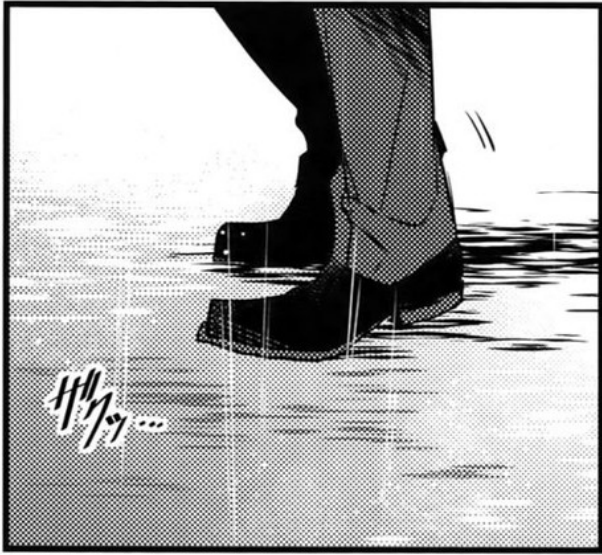


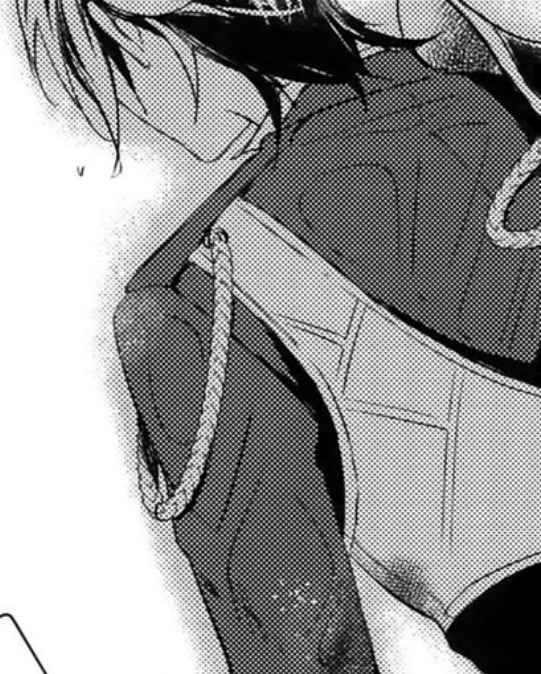


だが僕はここで もう一度刀になれる

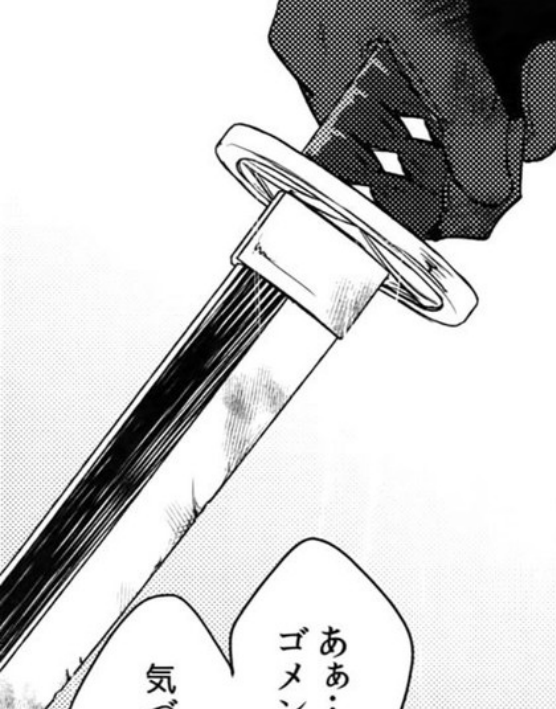








光忠っ



撤退だぞっ



ああ…
ゴメン

気づかなかったよ



…手入れも
必要だな

大丈夫だ

まだ斬れる

まだ
斬れるんだ



キリッ

いっ
し
い



…別に
無理はして
ないよ

言ったはずだ
無理はするな

先に戻って
貰った
…あんたは
聞いていなかった
ようだが

…皆は



少し休んだら
皆の後を

追っ



雨宿りに
調度いい
所だね



て

ぐわ

ぐわ



フツ...



そうだけど
もう大丈夫だって

えっえっ
ちよつと
何でっ!

前に頼んで
来たのは
あんただろう



ひよつとして
怒っている
…のかな？



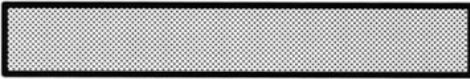
…あんたが
逃げないように
するだけだ

…大俱利伽羅



怒ってなど
いない

いや
怒ってる
だろう



光忠
逃げるな

うっ…

ちゅっ
ちゅっ

僕が
悪かった

ぐっ…

少し
冷静さを
欠いでいたよ

周りも
よく見て
おくべきだった

だから何も
こんな
ところで…っ

ぐんぐん

ぐんぐん…



どうして
この流れに...?

えっ
えーと...っ



俱利伽羅
何で...っ



あっ

んっ

ううっ

んっ

んっ
んっ



格好悪いと思
うなら自分で
見なければいい

んっ

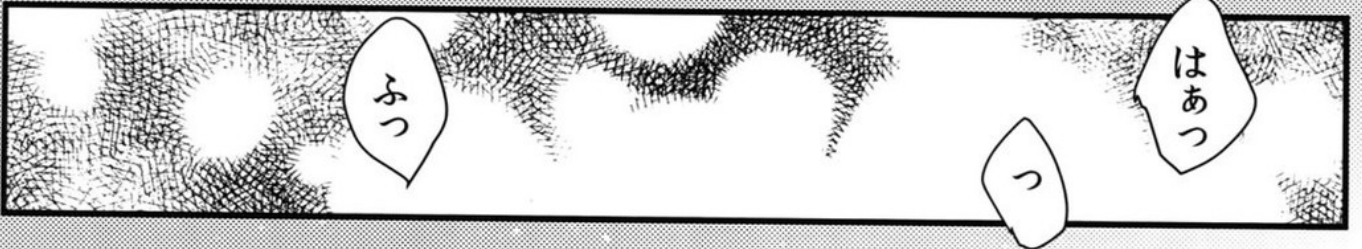
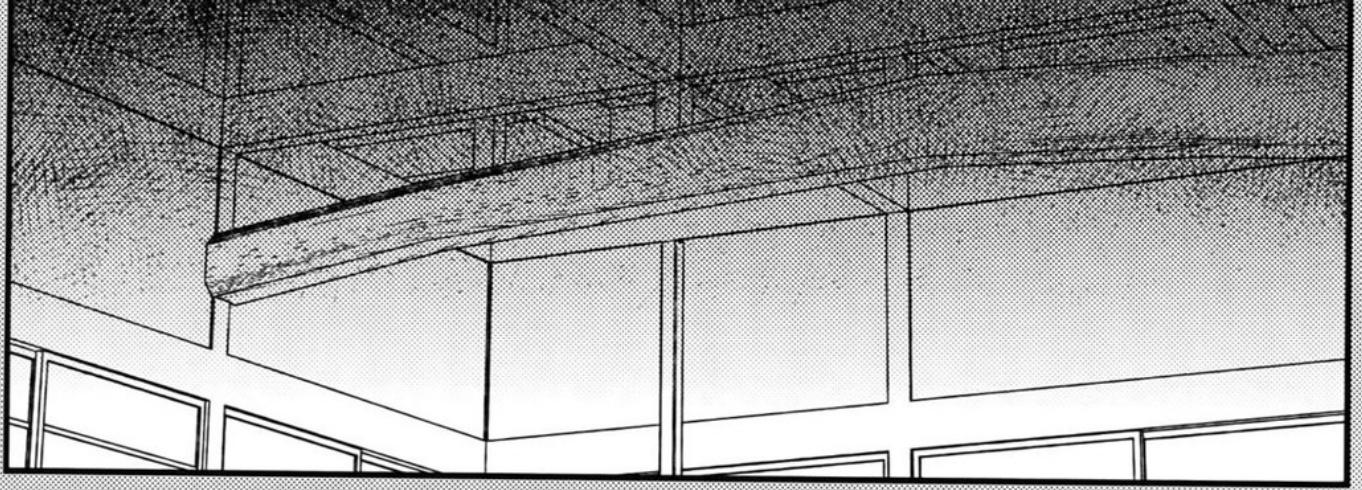


俺は
全部見たい

あなたの
全部











見えないのは
やっぱ



っらいっ...
ねっ...



しちやっ

はっ

はっ

っいっ



っいっ



はっ

はっ

っ…
もしかして
…嫌だった？

正直
良い気は
しないな

…ゴメン

君には
格好悪い姿
見られたく
なかった



真っ黒に焼け焦げて



かつての斬れ味は
何処へいったのやら

物を
斬ることも
できず

人のような心を
持ってしまったら

果たして
僕は何に
なるのかな

大俱利伽羅

僕は
刀でいたいよ



やだな…
弱音なんて
それこそ
格好が悪い

…光忠
あんたは

大俱利伽羅



あんたは今でも
…良い刀だ



君は嘘も
つかないから
困るよ…

大分
遅れたけれど

主に怒られる
かなあ

……



見えてきた



本丸への帰り道
開けておいて
くれるのは
助かったね

なかったら
どうしようかと
思ったよ

ただいま

こつちでも
雨降つてたのかな
いい天気だ

洗濯でも
したくなるね

…あんた刀で
いたいんじゃない
なかつたのか

それとこれは
別だよ

気持
じや

付喪神は…

語り継がれる力が
大きければ
その存在も
在り続けるはずだ



だから

そうだね

君は
覚えていて

絶対に
在り続ける

なら
あなたの存在が

消える
ことはない

ここは

僕にとって
刀でいられる
最後の舞台だから

だから君に
見ていて欲しい

燭台切光忠は



隊を支えるように動き

必要とあらば
どんな仕事でも
こなしていく

そんな

常に格好良さに
拘る刀だ



そして一層



戦の最中の姿は



何よりも眩しくて



目映い
光の塊だ



忘れない

ああ...





ああ
すまんすまん
2人は後から
遅れてくる
そうだな

心配は
いらぬいさ

手入れ中

あつ
ここに辿り
つけるよう
にはしといて
くれつ

大俱利伽羅と
何か話していた
ようですが

気を付けては
いたんだがなあ

いや何
ちよつと
お節介をして
しまった
だけだ

随分
酷なことを
されていた
んでな

?

待っている
刀だっているのさ

大俱利伽羅っ
戻ろう





何か：
告白でも
さされてる
みたいだ



ん？
あれ？

えっ




ははっ

ああ…



…ずるいな



君と
いろんなものが
見たいよ





カタナの性教育

性教育？

主：いきなり何を言い出して

いや何…床に持ち込まれることが多い短刀たちともかくも

お前達そつちの知識ちゃんとあるのかならって

どうって何のことだい？

!?

ほら…朝とか戦場とかで…こう股間が張りつめたりしないか？

ああアレか放っておけば治るから問題ないんじゃないかい

ほら…っ！ほら…っ！やっぱり分かってなかった…！

はいっこれ

各部屋ごとに支給しようと思っている指南書だ

それ読んで健康的な生活を送ってくれ



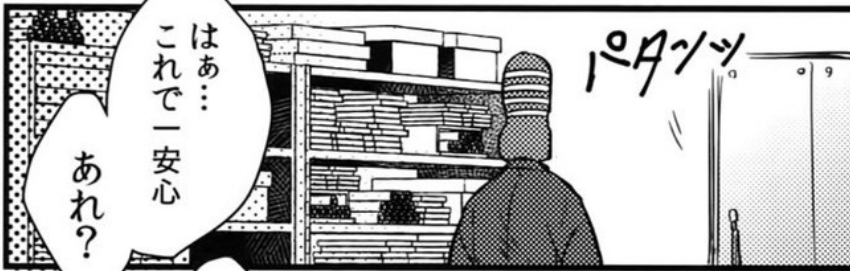


オーケー!
これを実践して
いけばいいんだね



各部屋ごと
つてことは僕は
大倶利伽羅とこれを
試せばいいのかな?

そうそう
恥ずかしいかも
しれないが
男所帯だし
そこは
開き直ってくれ



はあ:
これで一安心
あれ?



渡す本
間違えた...?

件の本は
まだここに...



はう...どう...?

...何だこれは



主から
頼まれ
ただよ

何でも僕達の
健康を保つには
必要みたいなんだ



各部屋ごと…
らしいから
早速今夜試して
みないかい？



好奇心



…俺には必要な

必要あるって…
あんまり健康害すると
うまく立ち回れなく
なるみたいだしね



△ちや

<ちや



△ちや



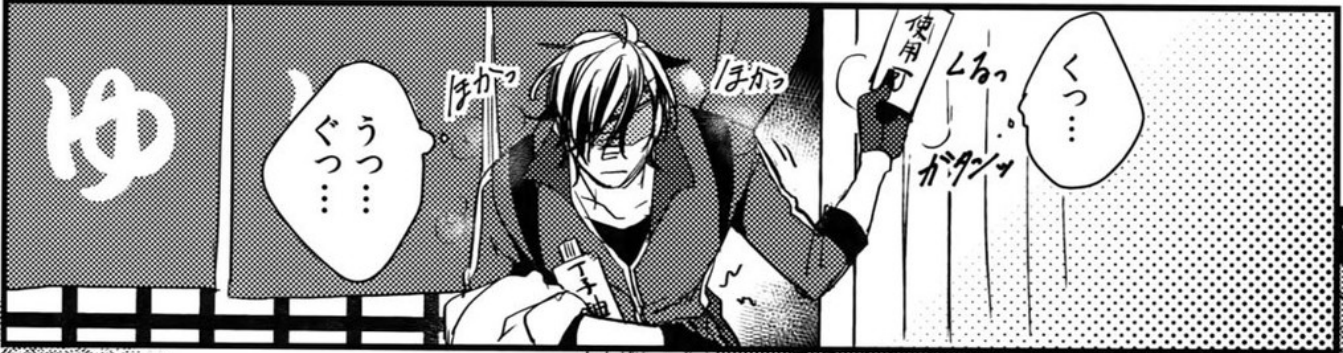
んんん

気持ち
いいかな？



はっ…手
止まつてるよ
大俱利伽羅





1-A-14...



違っ…
それは
さつき…



…こんなに
ぬるついて
いるものなのか



いや大丈夫
だから…
そのまま



僕これとても
格好悪い姿を
大加羅に
晒しているん
じゃないかな



続け…っ



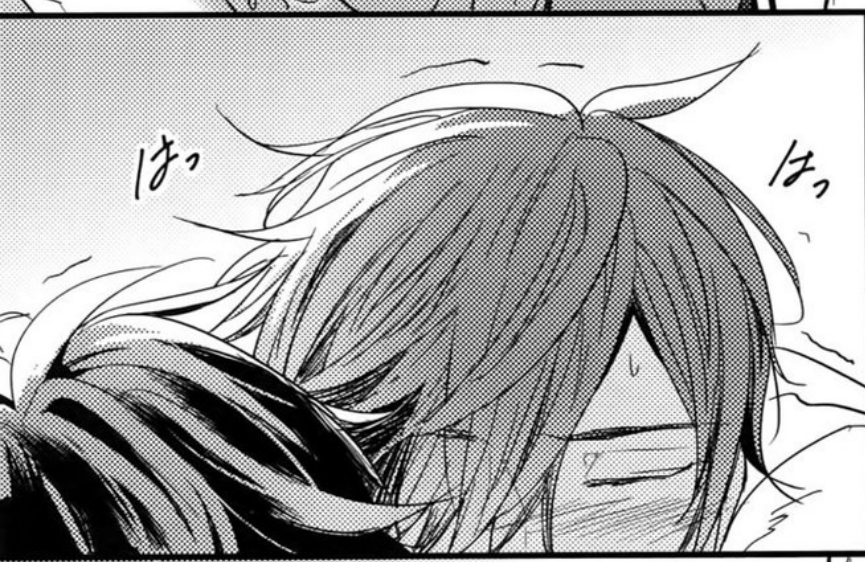
：案外
簡単に
入るんだな

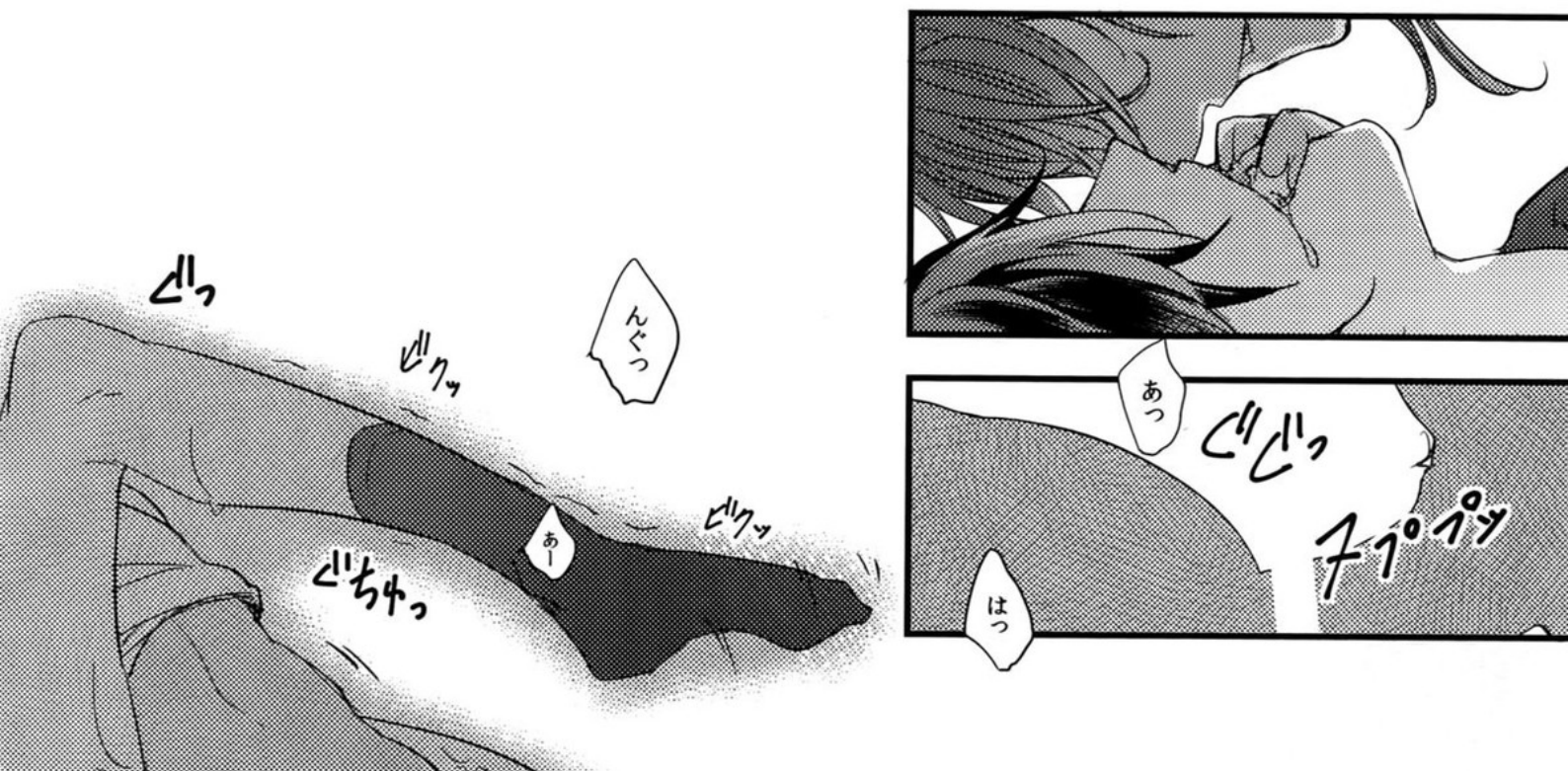
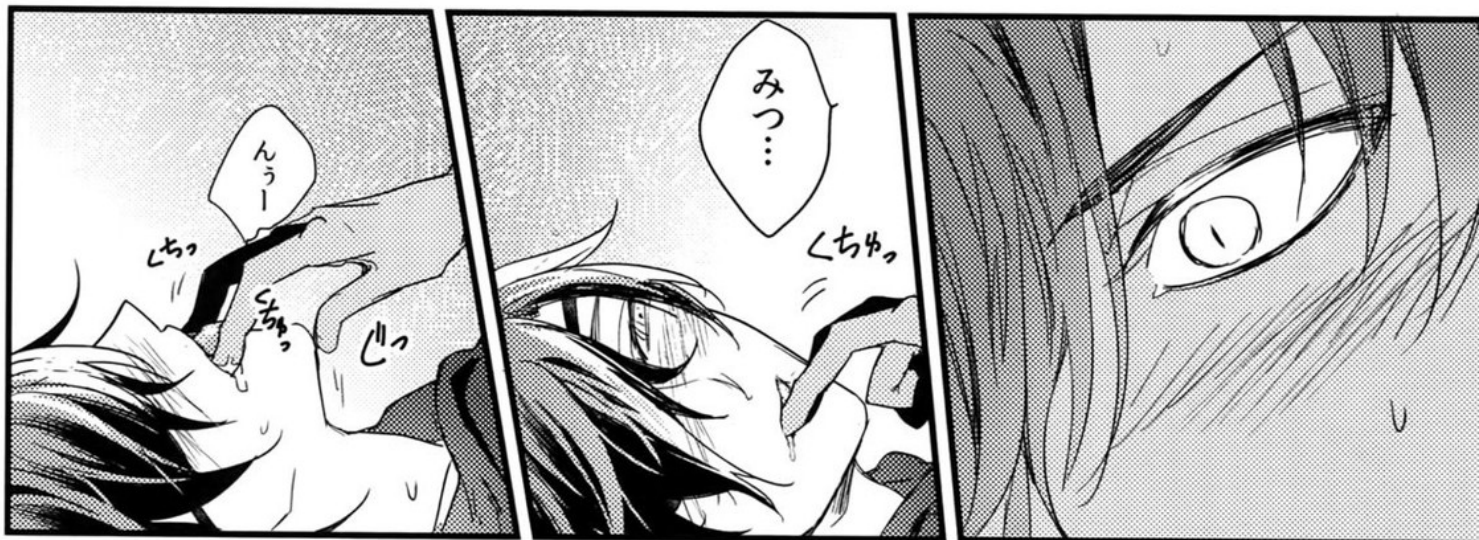


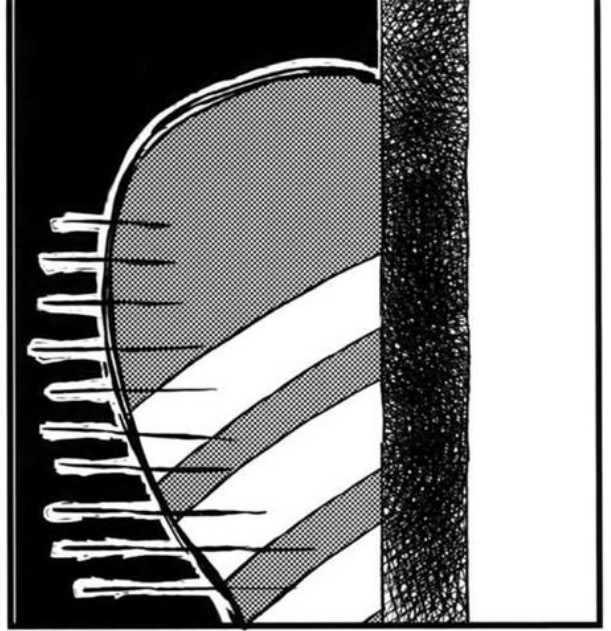
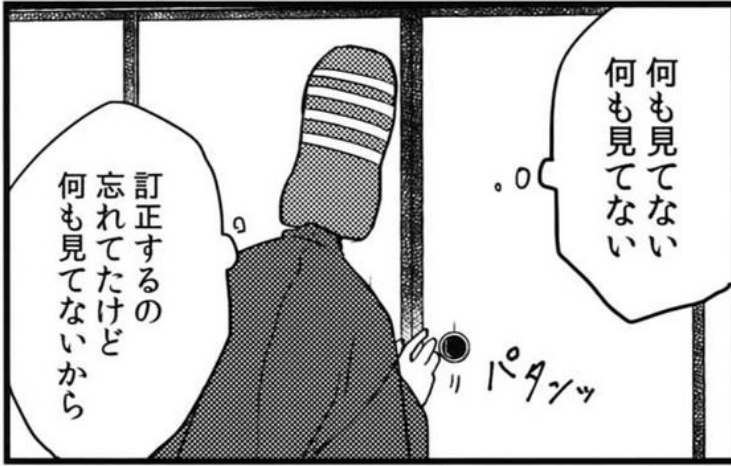
くりからっ
奥…入れすぎっ



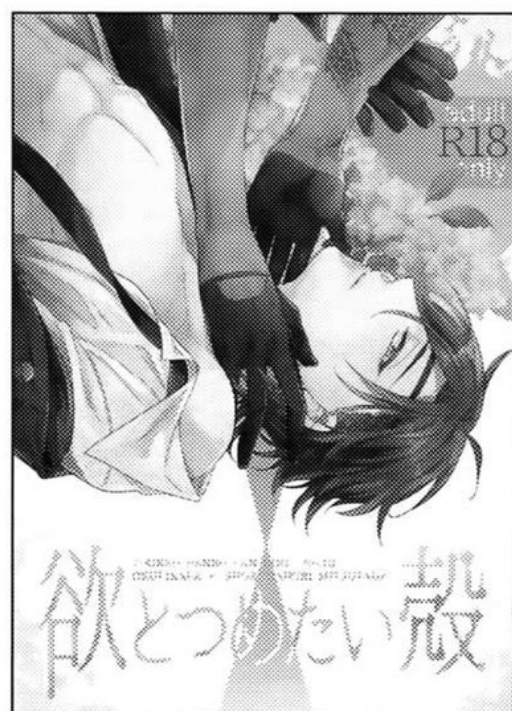
頑張った
からね…
いっ



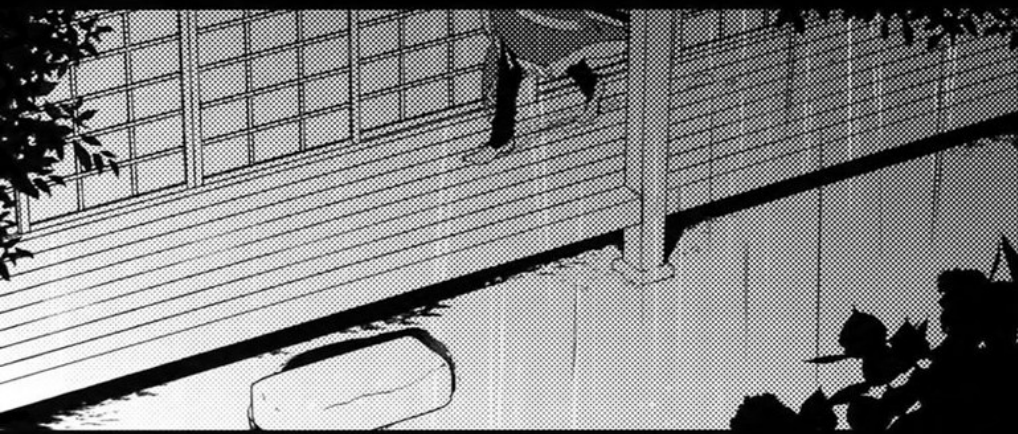




人の身体歴数ヶ月
性の目覚め



欲とつめたい殻



何も
起こらない

ただただ
大俱利伽羅の視線が
重くのしかかるだけ



就寝時の際にも

野戦帰りの彼の気配が
しばらく僕の近くで
感じる事が多くなった



昼間の
ふとした瞬間
だけじゃない



日に日に彼の視線が重くなるのを感じる



放つで
おくことは
出来ないよね



何しろ
彼がこうなったのも
僕のせいだから



暑い…
何だこれは…



あらっ



ツリッ

ツリッ

ツリッ



騒がしいな…

アッ

アッ



どうして
こんな…元気で…



少し気を
紛らわせれば
暑さも感じ
なくなる



大丈夫
暑くないよ

少し湿度が
高いただけだ

ほら
どうだい？



あんな…
変な物でも
見たのか

うーん駄目かあ…
やっぱり簡単には
いかないんだね



暑いな

えっ

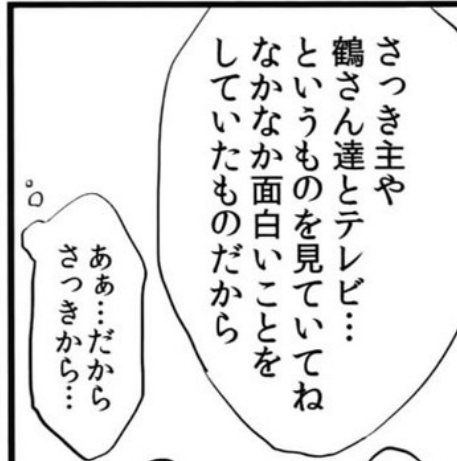


人は言葉にも
霊力が宿ると信じて
いたようだけど…



言い続ければ
嘘も真に近づく

言葉は思つた以上に
物事に影響を
及ぼすらしいね



さつき主や
鶴さん達とテレビ…
というものを見ていてね
なかなか面白いことを
していたものだから

ああ…だから
さつきから…



暑い…人の身体は
どうしてさうも
不便なのか

はあ

つれない
なあ

くだらないな



ミで
だんだん腕が
上がっていくんだ



暑くて

やめてくれ

頭が……

君は
僕を好きに
なってくれる

とか
なんて



本当に効果が
あればよかったのに

伽羅ちゃん
皆と仲良くなるか

暑い……

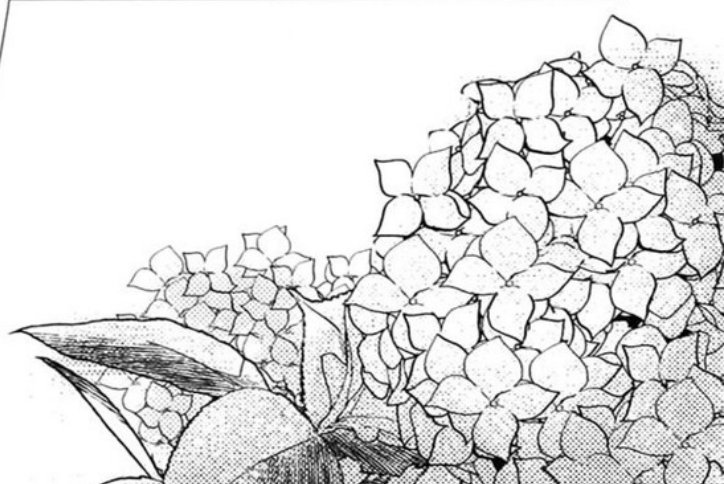


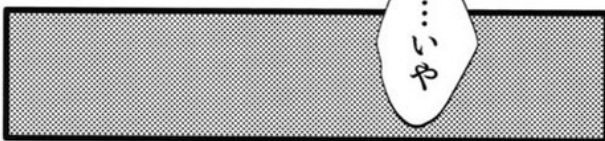
伽羅坊が
暗示にかかった？



全部
見てたんじゃ
ないのかい？

俺が
見てたのは
仕舞いだけだ







このままでいるのも…
よくはないよね

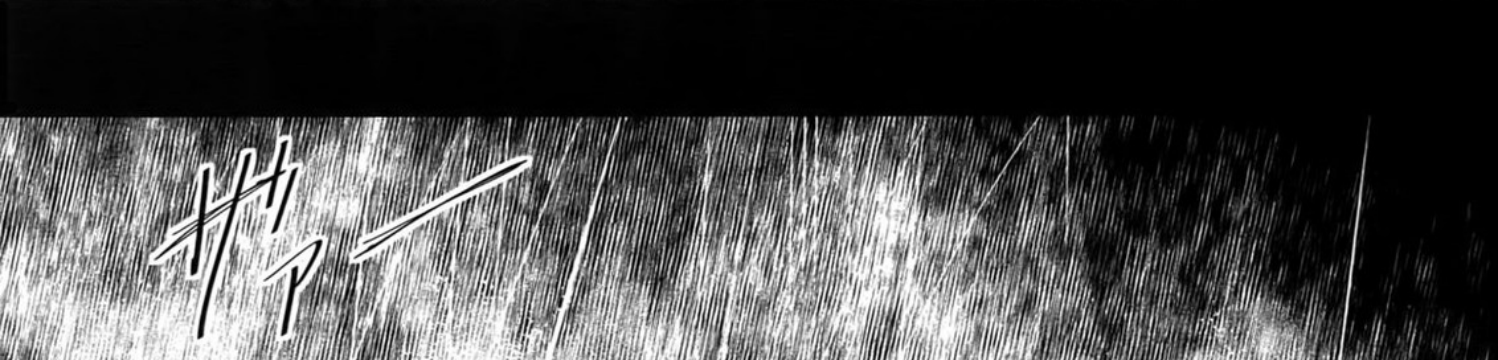
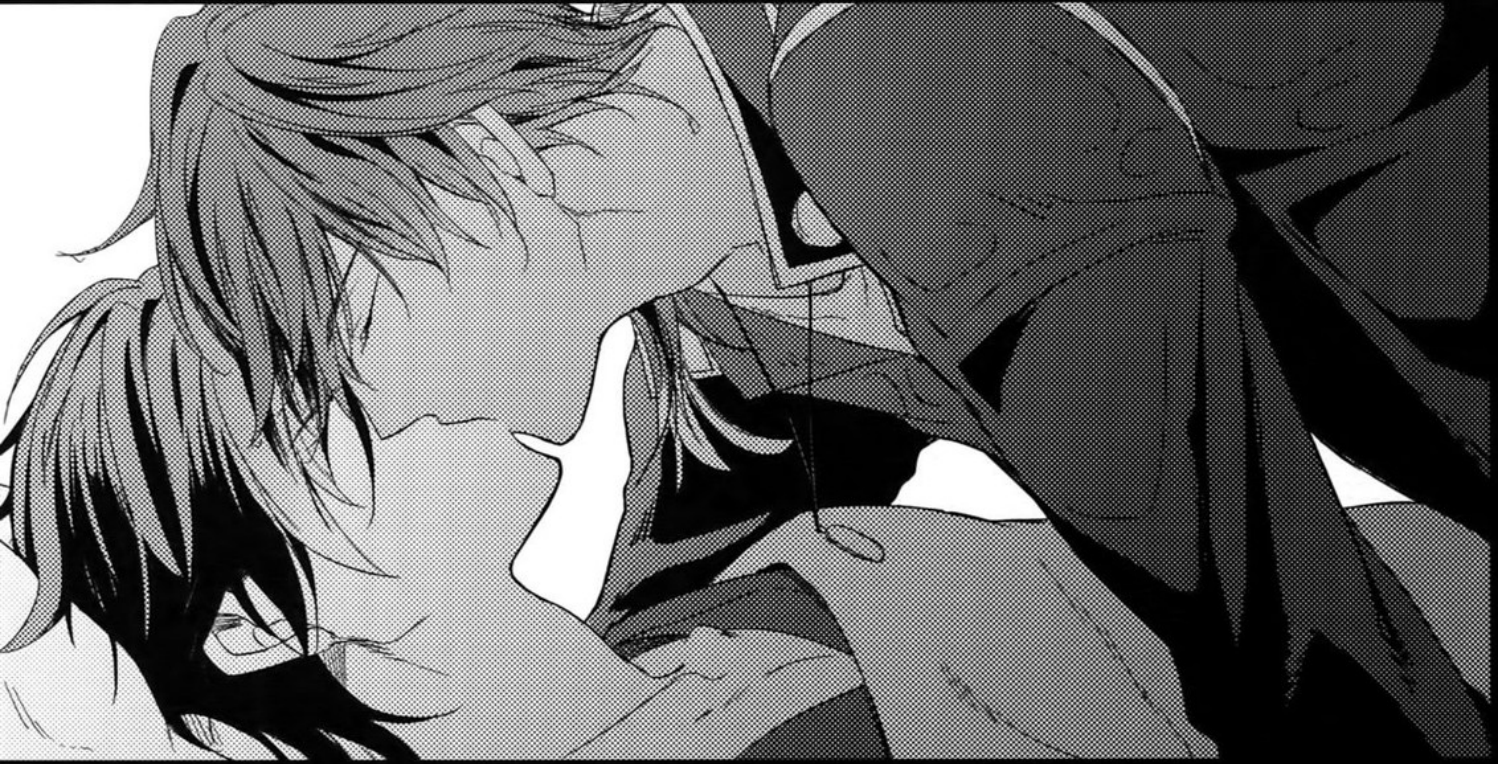
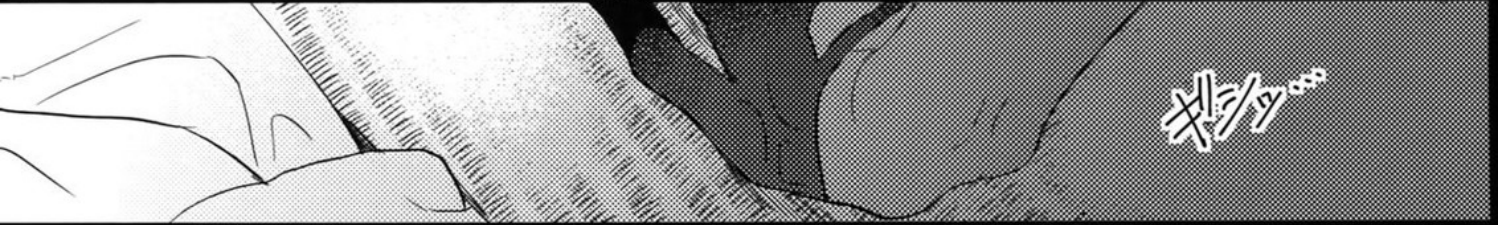
毎夜先に眠っている僕の横で
ただただ立ち尽くすだけ



あるとしたらそれは――



今日も
見ているだけ
なのか君は





※手合わせ中





…あんたは
何を言っ



だから
そのまま僕のものに
なってくれよ

気にしているよ



ふざけるのも
大概にしろ
…この間のことを
気にしてるなら



僕のふざけた
言葉が原因なら
君のせいじゃ
ないから

全部僕のせいに
してくれよ



今日も
凄い雨





早く帰らないと
風邪を

大俱利伽羅さん？



この時期は
天候が悪く
なりやすいですね



何を？

…冷まして
いる



……
はあ



今日も君の
体温は冷たいな...

ギョ...



ただ今回は



随分積極的

フワッ...





し。0。
だいぶ
際どい...



ムムム?

やめる気かい?

ムム...



ん?

キム

キム

乃あせっ



こつちを
その気に
させておいて

それは
ないんじゃないかな



カリッ



随分
無防備だね



何されたって
知らないよ



君は入れたい？
入れられたい？



おやすみ



…冗談だよ



それから
大俱利伽羅の夜のそれは、
何事もなかったように
ぴたりと止まった



よっ



どうしたんだい
珍しいね

伽羅ちゃんが
ここまで
潰れるなんて

この頃夜戦
続きだったろ
少し息抜きさせて
やったのさ

僕が
部屋に送るよ

ああ頼む



僕は
避けられて
いるのかな



最近：彼が
何を考えているか
分からなくなるよ



えっ

そうかな…

俺は時に
伽羅坊以上に
君のことが
分からなくなるな



そうか



君

本当に
大倶利伽羅が
そんなもの
君の冗談に

かかっているとは
思っていないだろ？





ひよつとして僕は
君に嫌われて
いるのかな？



あんだ
何してっ



れろー

んっ



まだ酔いが
回ってるのかな？

少しだけ
大人しく
してて



おいっ
ぐっ

ちゅるっ

んーちよつと君と
してみたくなつた
からかな？



光忠っ

やめろっ



ハッ...

みちっ

はっ

んっ

やっぱり
キツ...

いい加減にっ

嫌かな？
でも君...

全然
萎える...っ
心配
ない...よ？

いいから
煽るなっ



ごめん…ねっ
先に…
いってしまっ
かも…







はっ

はっ

はっ

ははっ
君：元気だね



はっ

はっ

そっ...









おい
無事か



大丈夫に
見えるかな？



君のそれは
自業自得だと
言っているか？

はあ：
否定はしないで
おくよ

不用意な行動を
とるからそういう目に
遭うんだ



でも
こういうきっかけ
でもないよ

大俱利伽羅は
僕に触れて
くれないだろう

君は大俱利伽羅を
どうしたいんだ

…真面目に
向き合う気が
ないなら俺は

いや
気にしないでくれ

君達の
問題だったな

邪魔
したな

人の身になった時から
多少違和感はあった…

久しぶりに会った
光忠を見て
少し安心したただけだ

それが

…日に日に
妙な感覚が
増えていく



なのに

どうして
余計なものまで
生まれる

俺達は刀だろう
いつか来る終わりで
ただ振るって目の前の敵を
斬り続ければいい

だから
これはいらない
…必要ない





僕も同じだよ



こうでもしないと

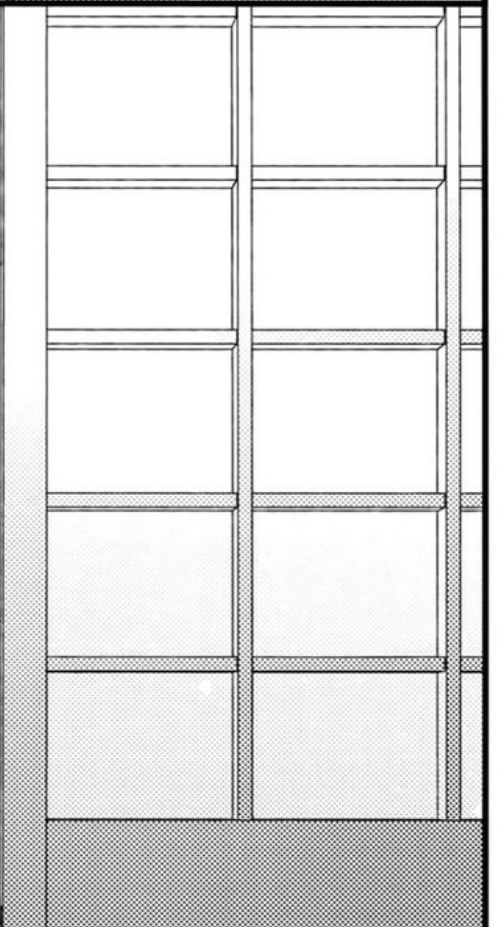
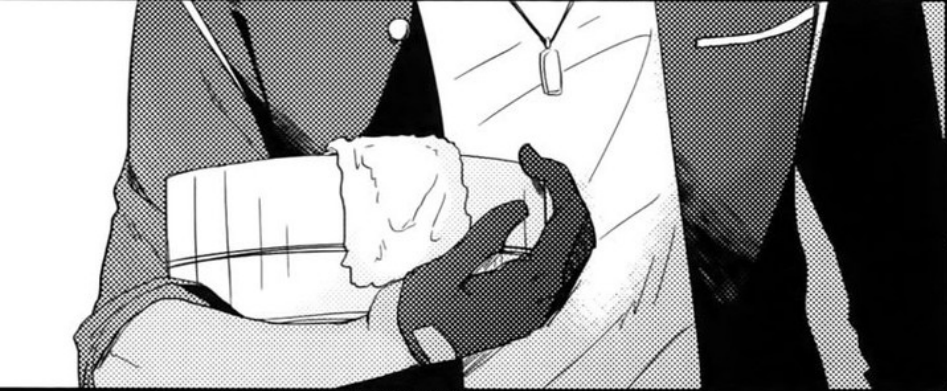
何も



そうか









トウサク・リード

どんなに年月が
経っても
忘れられない
ものがある





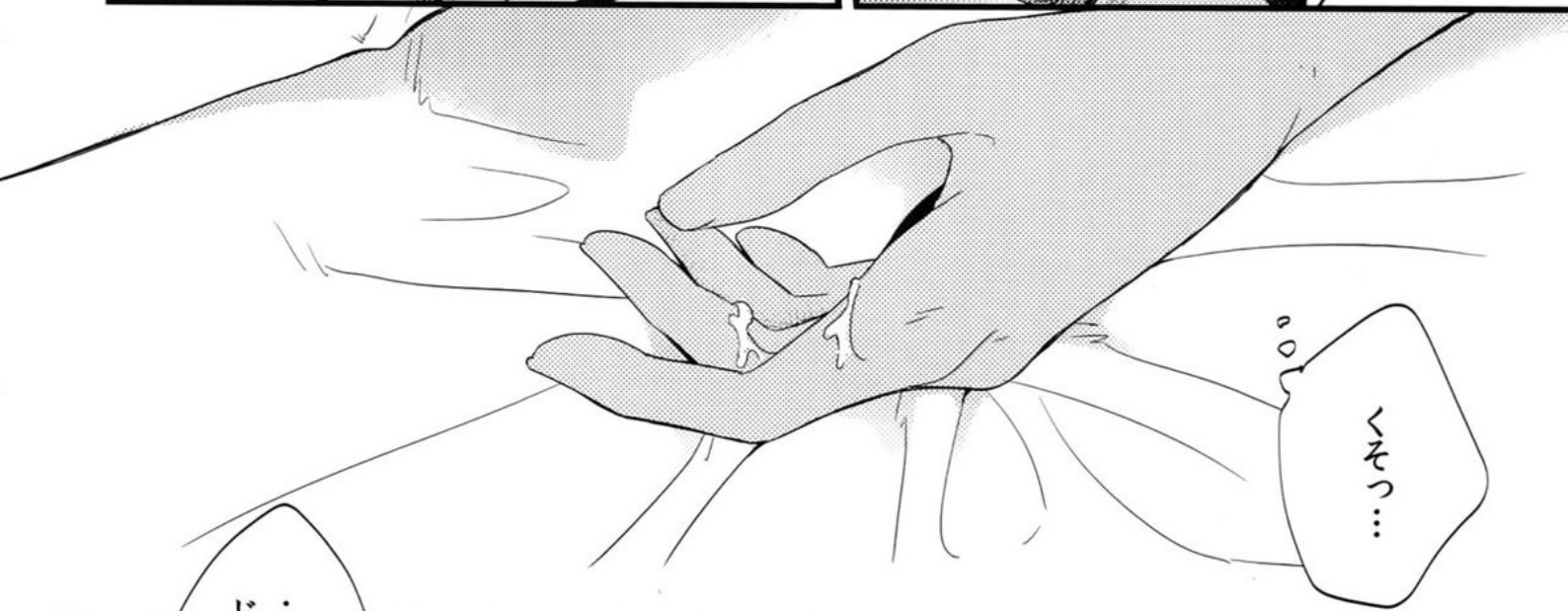
びんっ

うっ…

僕が
手伝うから
そのまま…



ほっ



くそっ…

…長谷部くん
どうしよう

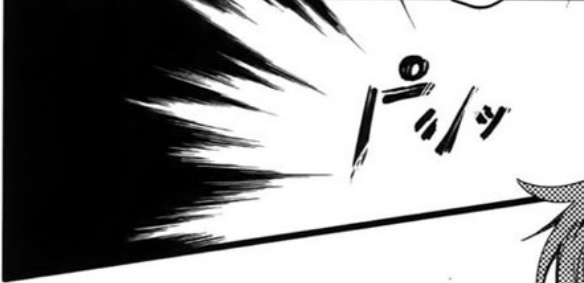


トウサク・リード



事の発端は僕の軽率な行動が
全ての原因だった





俺は…
おかしい
のか

そうかあ…

廣光も
そういう
年かあ…

僕は遅かったから
実際にくる前に
知識が先に身に
付いてしまったけれど

いっ…

知らないまま
だったらびっくり
するんだろっとなあ

ねえ

それ
治す方法
教えてあげるよ

兄代わりの
役割しないと

こっちおいで

いー

痛いことは
しないよっ

はい



随分
気持ちよそそう

そろそろ
出そうかな？

うん…
力抜いて

みつ

みつただ
あんたも…

一緒に

最初は
ちよつとした
親切心



えっと…

それが
どどん
エスカレート
してきて



…しないのか



脱いだ方が
いいのかな…？

かきつこみたいな
もんなんだよね…

したごと
ないけれど…



ちゅっ
ちゅっ





ちゅむっ



今日はもう
一旦やめて

押し...



ぶっはっ

これはとても

いけない
状況なんじゃ
ないかなって...





きせき...う

ぴんっ

すりっ...

くちゅっ

くちゅっ

けど
これは

あっ

みつ...た...

あっ

あっ
とけ...るっ

くちゅっ

くちゅっ

くちゅっ



待って
入っ

みつただ

あっ

くちゅっ

くちゅっ





何だか
本当に

セックスしてる
みたいだなあ
って
思ってる

ほほ
しているな

…先っぽだけ
しか入って
ないよ

…確定か

止めよう
止めよう
思っても
なんか
可愛くて…

これ
犯罪かなあ

犯罪だな

ああ…

それから廣光は
成長するにつれ

徐々に僕を避けるように
なってしまうけれど

おはよう
廣光

ああ



それでも可愛いなあと思ってしまう



ただ少し…寂しいんだよね

また甘えてくれないと
思うんだあ…

俺の部屋で
何をしている



※酔っ払い
(飲み会帰り)



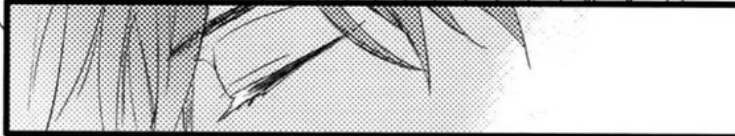
はあ…

うん…

もねっ…







ゴメンね
道踏み外させ
ちやつたかな…



どんなに年月が経っても忘れられない熱がある

物心ついた頃から
見えるそれは

いつも
当たり前のように
俺の側にいた

あんたは
うれしい
のかなのか

…みつただが
すきなのか

……

…好きに
解釈しろ
かいしゃく…?

だって



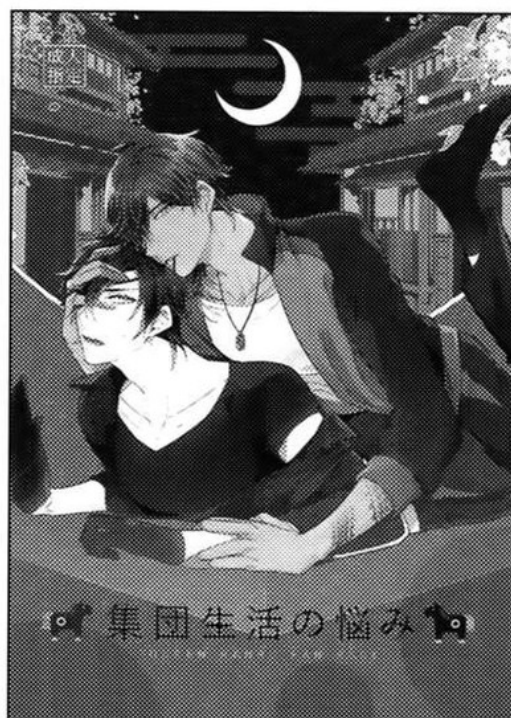




大丈夫だ
光忠
大丈夫だ
みつただ



これは俺だ



集團生活の悩み

お互いに想いを
告げた後も

触れたのは
一度だけ

人のような姿をしていても
僕達は付喪神だから

想い合えれば
それで充分

それだけで
満たされる

…そうか

だと思って
いたんだけど

しゅ
しゅ



君
凄い顔だぞ



光坊



人の体というのは
予想以上に
生理的な欲求が
生まれるものらしい

ゴメン
大倶利伽羅…

君のことを
また変な目で
見てしまった
今更そういうこと
誘い辛いしなあ…



伽羅ちゃん
視線
露骨過ぎ



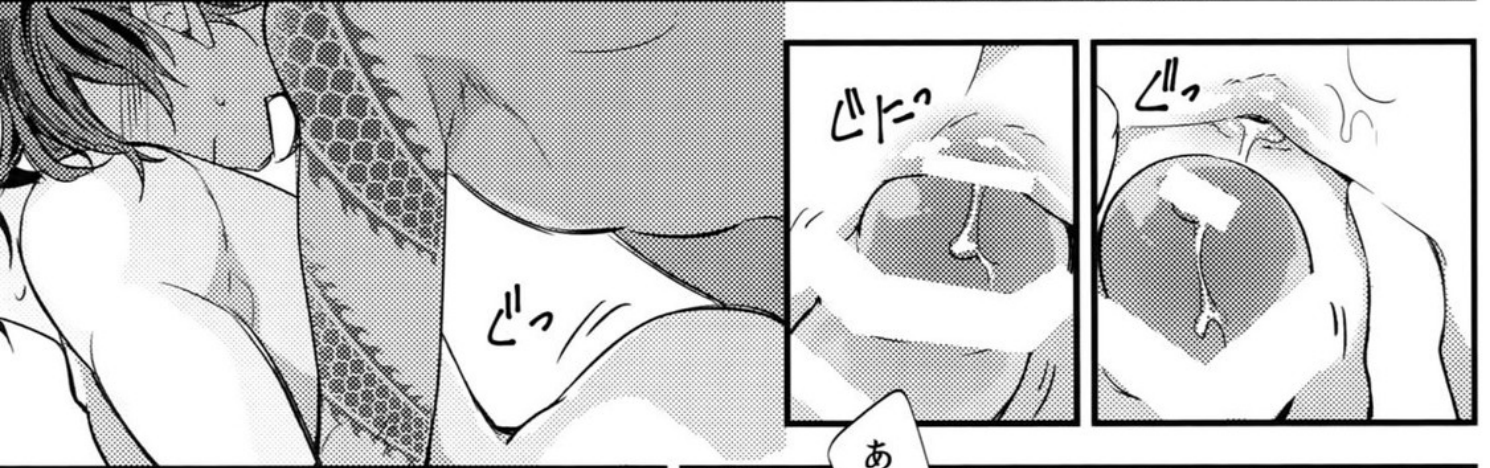
何より集団生活で
情を交わすのは
難しいよね…



限界を迎えていたのだろう











すいー



伽羅ちゃんっ

ちよっ

しっ

しっ



この際二人で
厠に行つて
処理するしか…

ここじゃ
流石に…
続きは
出来ないよね…

くっ



ゴッ

えっ
ちよっと

光忠

屈め

待っ

しっ

…悪い



スー



太刀

カ〜ン...
あまり
見えないや

...そうだな

打刀

※身長170cm



でも
此処じゃ流石に
暗すぎるかな



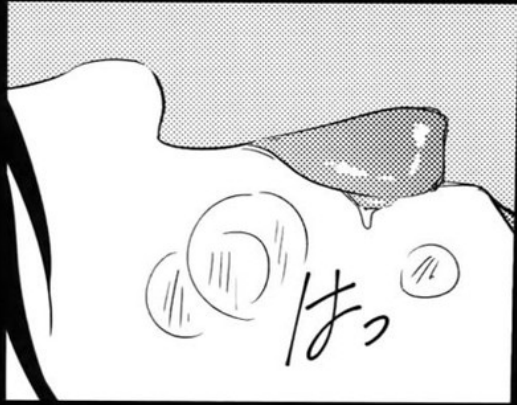
ははっ...
伽羅ちゃん
意外と強引だね

びっくり
したよ



きゅん





さつき
解したやつ
残ってるから…





おめっ

すっ

すっ

ふっ

深…っ

まだ
奥入っ…

!?

おめ

おめ

おめ

ん

ん



おめ



きゅっ

嬉しいけど撞りよ…っ!!



おめ
おめ

ストップ…っ!



あっ

おめ



ねえ
あつ

おっ…
くりからっ

今
誰かっ

んっ
しゅっ

っ
っ
っ

キッ…



びっ



今
音が

鶴さんか
さだちゃん
が起き…

あつ

すっ
ちゅっ

あつ
うっ

キッ…



国永

くりから

そのまま閉める
続きができない

※口話術

あつ君
続行する気か

この状況で

誰かつ

いつ
る？



…これは
甘えられて
いる…のか？



ズザ



俺は何も
見ていない
見ていない

しゅん



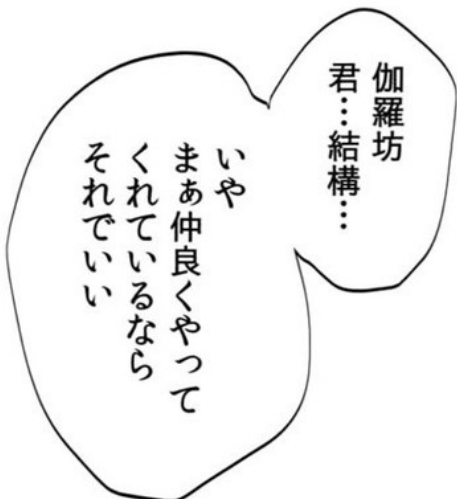
わえ
鶴さん達に
バレちゃうよっ

大丈夫だ



もう既に
バレて
いるんだがな

あっ
あっ
あ
んっ
んっ







おかえり
貞ちゃん

鶴さんは
一緒じゃない
のかい？



ただいま！
みつちゃん！
伽羅！



いや
今日は
別部隊だな

なあ、
腹減ったから
何か食べようぜ

Ok!
ちよつと
待ってて

先に
向こうに
行ってる
からな



……
嘘



えっ

……
忘れてる



光忠



何だか
いい加減
バレるんじゃないかなって…

…

バレているが



でも

ちよつと
ドキドキして
楽しくも
あるよね



お似合いだぜ
君達……

あと
1時間は
待った方が
いいか

終

2015年6月～2016年12月までのくりみつ再録でした。

二振りが原作ゲームで会話するまで
イチャつかせないぞ…という謎の決まりを課していたんですが
ようやく終盤で…無事にイチャイチャさせられてよかったです…
くっついてなくてもイチャついでる気がしますけど…

甘いのも辛いのも色々描いていきたいです。

お読み頂きありがとうございました！

ありま

くりみつ再録集『灯火綴り』

2017.8.11 irorabbi ありま



拍手：何かひとこと感想など頂けると嬉しいです

info@irorabbit.com / pixiv : 5325522 / twitter : arm_saniwa
thanks AXIS様
ネットオークション・フリマアプリへの出品及び無断転載禁止



大俱利伽羅 × 燭台切光忠

TOUKEN RANBU FAN BOOK

いろいろ -irorabbi-

